

事務事業名	中小企業相談事業補助金
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 47 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	経営基盤の強化と経営支援機能の充実	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	登録商工会議所中小企業相談所が行う中小企業相談事業を支援することにより、市内中小企業者の経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内中小企業者の経営の安定と発展を図る。						
	計 画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・登録商工会議所中小企業相談所が行う金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行う。						
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 中小企業基本法、商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律、登録市補助金等の事務取扱に関する規則、中小企業相談事業補助金交付要綱	対 象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 登録商工会議所中小企業相談所				
P l a n D o 事業費 (財源内訳)	名 称	単 位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	1,342	1,342				
	一般財源	千円	5,658	5,658	7,000	7,000	6,500	7,000
	合 計			7,000	7,000	7,000	7,000	6,500

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登録商工会議所中小企業相談所が行う金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行った。	
【事業実績】	
・相談事業1,024件（巡回指導398件、窓口指導626件）	
・講演会、講習会開催 個別指導3回（参加者7名） 集団指導3回（参加者49名）	
・金融の斡旋（件数32件、総額201,530千円）	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単 位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	経営指導員による指導（巡回指導）	件	362	607	532	398	400
指標・実績②	経営指導員による指導（窓口指導）	件	338	629	486	626	600
指標・実績③	講演会等の開催（集団指導・開催回数）	回	6	6	5	3	3
指標・実績④	講演会等の開催（集団指導・受講者数）	人	332	137	107	49	49
指標・実績⑤	講演会等の開催（個別指導・開催回数）	回	1	1	1	3	3
指標・実績⑥	講演会等の開催（個別指導・受講者数）	人	2	3	4	7	7
指標・実績⑦	金融の斡旋件数	件	37	30	18	32	32
指標・実績⑧	記帳継続指導事業（合計指導回数）	回	156	152	154	150	150
指標・実績⑨	記帳継続指導事業（指導事業所数）	事業所	50	50	50	50	50
指標・実績⑩	登録商工会議所会員数	件	661	663	666	651	651
成果指標	巡回・窓口相談企業数	件	700	1,236	1,018	1,024	1,000

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・経営指導員による巡回・窓口相談企業数は多く推移しているものの、相談事業に従事する人材の確保が難しくなっている。
継続	
【2次評価】	
継続	行政評価会議及び総合
【3次評価】	・効果的な事業の実施に向けて、事業の充実化及び計画的な事業の実施を促進する。 ・他自治体における商工会議所等への補助等の支援状況を把握するとともに、登録商工会議所と補助制度の内容について協議を行い、制度の改正も含め検討を行う。
継続	今後の方向性【Plan】 市内中小企業者の経営の安定と発展を図るため、継続して事業を実施する。

事務事業名		中小企業者事業資金利子補給金		
区分	No.	名称		部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち		観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる		会計種別 一般会計
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成		開始年度 昭和 56 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成		終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	経営基盤の強化と経営支援機能の充実		事業区分 ソフト事業
				大型事業推進プラン 非登載事業

目的	中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減することにより、その事業活動を支援し、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減し、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。							
	計 画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・ 登別市中小企業特別融資制度の事業資金の貸付を受けた事業者に対し、利子補給を行う。							
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市中小企業振興条例、登別市中小企業者事業資金利子補給要綱	対 象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 中小企業特別融資制度の小口事業資金、団体事業資金、新分野支援進出支援資金の利用者					
P l a n D o (財源内訳) 事業費	名 称		単 位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
	道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円	91	30	50	50	41	30
	合 計				91	30	50	50	41

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登別市中小企業特別融資制度の事業資金の貸付を受けた事業者に対し、利子補給を行った。	
【補給率】	・ 団体事業資金 年1.50% ・ 小口事業資金 年0.40% ・ 新分野進出支援資金 年0.70%
【利子補給実績】	・ 小口事業資金 10件 ・ 団体事業資金 0件 ・ 新分野進出支援資金 0件

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単 位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	利子補給実績（小口事業資金）	件	6	10	8	10	5
指標・実績②	利子補給実績（団体事業資金）	件	0	0	0	0	0
指標・実績③	利子補給実績（新分野進出支援資金）	件	0	0	0	0	0
指標・実績④							
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	実施件数（当該年度）	件	6	10	8	10	5

課題等の状況【Check】		
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	・ 平成29年度実施計画ローリングにて、平成30年度より登別市中小企業特別融資の新規貸付を休止することとなった。 ・ 対象となる登別市中小企業特別融資制度の資金の貸付を受けている事業者に対してのみ、全ての償還が終了するまでの間（平成35年3月末終了予定）、引き続き利子補給を行う。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		中小企業特別融資の新規受付を休止していることから、既存融資分に対する利子補給のみを継続して行う。

事務事業名	中小企業特別融資積立金
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 56 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	経営基盤の強化と経営支援機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	中小企業者等に低利の融資を行い、円滑かつ積極的な事業活動を支援することにより、経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 中小企業者等に低利の融資を行い、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。						
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・中小企業者等に低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。						
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市中小企業振興条例、登別市中小企業特別融資要綱	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内中小企業者等				
P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	54,000	34,000	46,000	46,000	24,000	25,700
	一般財源	千円						
合計			54,000	34,000	46,000	46,000	24,000	25,700

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
中小企業者等に低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託した。	
【融資の種類】 一般事業資金、団体事業資金、小口事業資金、事業所開設資金、小規模商工業近代化資金、新分野進出支援資金	
【融資実績】 ・新規融資件数 3件 ・新規融資額 10,342千円 ・償還額 12,055千円 ・年度末融資残高 49,711千円	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	新規融資件数	件	8	4	0	3	
指標・実績②	新規融資額	千円	53,400	6,656	0	10,342	
指標・実績③	年度末融資件数（一般）	件	13	12	9	9	
指標・実績④	年度末融資残高（一般）	千円	73,658	61,164	45,269	40,965	
指標・実績⑤	年間償還額（一般）	千円	8,607	12,494	15,895	8,646	
指標・実績⑥	年度末融資件数（小口）	件	6	9	8	5	
指標・実績⑦	年度末融資残高（小口）	千円	8,576	10,319	6,155	8,746	
指標・実績⑧	年間償還額（小口）	千円	2,704	4,941	4,164	3,409	
指標・実績⑨	年度末融資残高	千円	82,234	71,483	51,424	49,711	
指標・実績⑩							
成果指標	新規融資申請件数（当該件数）	件	8	4	0	3	-

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	行政評価会議及び総合
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	新規貸付は休止していることから、既存融資分に対する資金の預託のみを継続とするが、市内中小企業を取り巻く経済環境の変化に応じて、新規貸付の再開を検討する。

事務事業名 登別ブランド推進事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	製品等の魅力の向上とブランド力・技術力の強化	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	市内の特産品のブランド化等に取り組む登別ブランド推進協議会の活動を支援することにより、登別ブランド事業を推進し、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 事業を通じ、広く周知を行うことにより、登別ブランドの認知度を向上させる。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・登別ブランド推奨品の認定により市内産品の高付加価値化及び商品開発の促進を行う。 ・広告掲載やギフトセットの周知等、登別ブランドの認知度向上及び販路拡大への支援を行う。 ・ポスターやリーフレットによる国内外に向けた登別ブランドの周知を行う。 ・ブランド認定による経済波及効果を検証するため、推奨品の販売実績に係るアンケートを実施する。 ・ブランド認定制度の効率化等のため、認定制度の改定を行う。 ・登別版ご当地グルメ「登別閻魔やきそば」の普及促進支援を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別ブランド推進事業補助金交付要綱	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別ブランド推進協議会

Plan 事業費 (財源内訳)	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
	道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金	千円			2,000	2,000	1,500	2,000
	一般財源		千円	4,000	3,614	1,000	1,000	143	500
	合計			4,000	3,614	3,000	3,000	1,643	2,500

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
<p>登別ブランド推奨品の宣伝や販売促進、販路開拓に向けて支援を行う登別ブランド推進協議会に対して、その活動に要する経費を補助した。</p> <p>【補助事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登別ブランド推奨認定制度の推進 「鬼に金棒」・「登別地獄味噌めくり（ほっけ）」・「北海道熊笹そば」（新規認定）、「元祖たらこキムチ 登別たらこ地獄漬」・「のむフロマージュ」・「のぼりべつエゾシカ大和煮」・「のぼりべつエゾシカ味噌煮」（再認定） 平成30年4月現在認定商品 31商品（14事業者） ○登別閻魔やきそばの認知度向上：提供食数 91,061食（29店舗） ○イベント出展：市内外で開催されたイベントへの出展 8回 ○広告宣伝：旅行雑誌、テレビ等への広告宣伝 23回 ○情報発信：リーフレット印刷 20,000部（日本語）・各10,000部（英語、中国語（簡体字・繁体字）・韓国語）、登別ブランドの会が実施したギフトセットリーフレットの発行及び周知に係る支援、登別ブランド推奨品無料試食会実施支援 	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	ご当地グルメ提供店舗数	店		32	30	29	30
指標・実績②	ご当地グルメ提供食数	食		49,186	86,706	91,061	100,000
指標・実績③	登別ブランド推奨品認定数（全体）	商品	23	28	29	31	32
指標・実績④	登別ブランド推奨品認定事業者数（全体）	事業者	12	13	14	14	16
指標・実績⑤	イベント出展回数	回	7	12	4	8	5
指標・実績⑥	イベント来場者数	千人			2,802	2,677	2,000
指標・実績⑦	イベント売上額	千円			8,314	5,733	4,000
指標・実績⑧	雑誌、テレビ等広告掲載数	回	6	37	20	23	25
指標・実績⑨	広告等換算額	千円			12,909	3,462	5,000
指標・実績⑩	広告等接触者数	人			5,451,828	1,657,009	2,000,000
成果指標	新規認定商品数	品	3	5	1	3	4

課題等の状況【Check】

（事務事業の実施における課題点等）		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・認定事業者連携等を通じた新規認定商品の開発促進を継続する必要がある ・登別ブランドの認知度向上に向けた取組み ・商談会等への出展促進及びバイヤー向けツールの作成・配布を通じた取引の増加を促進させる必要がある ・登別温泉地区以外の飲食店・小売店への誘客促進及び外国人旅行者の受入体制の充実化 ・事業効果の把握及び分析を行い費用対効果の高い事業にを検討し経費の節減を継続する ・登別ブランド推奨制度の取組みが10年目を迎えたことから、これまでの10年間を振り返り今後の方向性について検討する必要がある。 		
【2次評価】	今後の取組【Action】		行政評価会議及び総合
【3次評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド認定事業者等による意見交換会の実施 ・登別ブランド推奨制度の認知度向上に向けた情報発信 ・外国人対応に係る翻訳等支援 ・加工食品以外の地域資源のブランド化及び情報発信 ・外国人を含む観光客に対する情報発信の促進 ・登別閻魔やきそばの認知度向上に向けた情報発信 		<p>今後の方向性【Plan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発や商品の魅力向上、新たな地域資源の掘り起こしを行うとともに、効果的な情報発信を行い、登別ブランドの価値や認知度の向上に努める。

事務事業名	室蘭テクノセンター運営費負担金	
-------	-----------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	製品等の魅力の向上とブランド力・技術力の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別市、室蘭市、伊達市の中小企業の技術力向上や新製品の開発に向けた支援などに取組む公益財団法人室蘭テクノセンターの運営を支援することにより、市内企業の技術力の向上や新製品の開発、販路拡大等を促進し、市内産業の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	運営支援を通して、市内企業の技術力向上や販路拡大等に努めやすい環境を整える。 (目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 公益財団法人室蘭テクノセンター

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	900	900	900	900	900	900
	合計		900	900	900	900	900	900

事務事業の成果・改善の状況【Do】
 公益財団法人室蘭テクノセンター運営費負担金を拠出し、同センターの運営を支援した。
 【同センターの事業内容】
 ・ものづくり創出支援事業
 新製品・新技術の開発、新事業の創出などを促進するため、起業化から新分野への展開など、一体化した支援を行った。
 ・新分野展開推進事業
 フロンティア技術検討会や産学交流事業などを行い、「地域のものづくり力の向上をめざして」をテーマとした講演会や会員相互の企業情報交換、他地域企業視察などを実施した。
 ・中小企業力向上支援事業
 技術・経営、特許、製造現場改善などの相談に対し、専門家らにより各種支援制度の紹介や大学・研究機関等への仲介を行った。

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標の区分	指標の名称						
指標・実績①	評議員会の開催数	回	3	5	4	3	1
指標・実績②	理事会の開催数	回	3	7	5	4	2
指標・実績③	ものづくり創出支援事業開発の芽育成事業	件	1	3	2	1	1
指標・実績④	ものづくり創出支援事業商品化推進支援事業	件	5	3	2	3	5
指標・実績⑤	ものづくり創出支援事業市場開拓支援事業	件	0	3	2	5	2
指標・実績⑥	ものづくり創出支援事業ものづくり資格取得支援事業	件	0	0	0	0	1
指標・実績⑦	フロンティア技術検討会参加人数	人	111	118	134	99	100
指標・実績⑧	参入促進支援事業に基づく講習会等参加企業数	社			6	35	20
指標・実績⑨	技術・経営、特許相談対応件数	件	676	471	455	528	500
指標・実績⑩	技術・経営、特許相談のうち大学・研究機関等への仲介件数	件	29	16	21	27	25
成果指標	地域企業訪問ヒアリング訪問企業数	件	28	99	137	154	150

課題等の状況【Check】
 (事務事業の実施における課題点等) 財源の検討(補助金・交付金の活用等)

【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	市内企業の技術力の向上や新製品の開発、販路拡大等を促進し、市内産業の活性化を図るため、引き続き、公益財団法人室蘭テクノセンターに負担金を拠出することにより、同センターの運営を支援する。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】 公益財団法人室蘭テクノセンターの運営支援を通して、市内企業の技術力の向上や新製品の開発、販路拡大等を促進し、市内産業の更なる活性化を図る。
継続		

事務事業名 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 8 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) ・市内企業や各種団体と、札幌圏との経済交流を深める。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 札幌のぼりべつ会、市内企業、各種団体

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	70	6	73	73	5	73
	合計		70	6	73	73	5	73

事務事業の成果・改善の状況【Do】

・札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催した。
 開催日 6月7日（水）
 場所 札幌市
 内容 市商工関係者からの情報提供2名
 講演 第1部「のぼりべつの魅力～神戸育ちの視点から～」、第2部「論語に触れる～豊かに生きる知恵」
 交流会
 参加者 札幌のぼりべつ会17名、登別市15名（うち経済関係者4名）

指標の状況【Check】

指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	交流プラザ参加者数	人	33	37	36	32	40
指標・実績②	登別ブランドギフトセット案内件数	件	50	39	36	37	36
指標・実績③	登別ブランドギフトセット販売数（札幌のぼりべつ会）	個				7	10
指標・実績④							
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	交流プラザにおける情報交換等テーマ設定件数	件	3	4	4	2	2

課題等の状況【Check】

(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）

【1次評価】	・市内企業や各種団体からの参加者の確保	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	・各種団体を通して周知を行い、参加者の確保を図り、札幌圏在住者との経済交流を深める。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		情報交換等によって、人脈の形成が図られ、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化への波及効果が期待されることから、継続して事業を実施する。

事務事業名		登別市商談会等出展補助金	
区分	No.	名称	部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	会計種別 一般会計
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	開始年度 平成 27 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	市内事業者等が、自ら開発・製造した製品、技術、サービス等の販路開拓に向けた取組を支援することにより、市内経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内事業者に対し商談会等への出展による販路拡大を促すとともに、商談会等への出展の有用性を認識してもらう。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・補助金説明会を実施し、市内事業者に広く補助金の周知を行う。 ・広報紙及びホームページ、ダイレクトメールにより補助金の周知を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市商談会等出展補助金交付要綱	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内事業者

P l a n D o (事業費 財源内訳)	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
	道支支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円	1,000	563	1,000	629	429	1,000
	合 計				1,000	563	1,000	629	429

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
製品の販路拡大等を図るため、各種商談会に出展する市内事業者に対し、補助金を交付した。 【補助対象経費】 ・出展料、通信運搬費、設備リース料、旅費、宿泊費 【補助率】 ・市内事業者：補助対象経費の2分の1、上限20万円 ・登録ブランド推奨認定事業者：補助対象経費の3分の2、上限20万円 ・市内事業者で構成される任意のグループ：補助対象経費の4分の3、上限20万円（千円未満切捨） 【実績】 ・補助件数：3件（商談件数85件、商談成約数8件）	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	出展社数	社		7	4	3	5
指標・実績②	商談件数	件		271	154	85	100
指標・実績③	商談成約件数	件		19	5	8	10
指標・実績④	名刺交換件数	件		749	332	135	200
指標・実績⑤	説明会開催数	回		1	1	1	1
指標・実績⑥	説明会参加者数	人		13	16	14	20
指標・実績⑦	登録ブランド推奨認定事業者 補助件数	件		5	3	2	3
指標・実績⑧	登録ブランド推奨認定事業者 補助金交付額	千円		829	457	323	600
指標・実績⑨	登録ブランド推奨認定事業者 商談件数	件		259	150	40	50
指標・実績⑩	登録ブランド推奨認定事業者 成約件数	件		19	5	8	10
成果指標	補助実績	件		6	4	3	5

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	財源の検討（補助金・交付金の活用等）

【1次評価】	・登録ブランド推奨認定事業者以外における事業者の利用が少ない。 ・従業者規模の関係から出展が難しいと考えている事業者が多い。 ・海外の商談会への出展が1件（平成29年度）あった。	
継続		

【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	・説明会、広報紙、ホームページによる周知を継続する。 ・市内事業者に対し商談会等に係る情報提供を行うと同時に、補助金の利用を呼びかける。 ・ホームページを活用し、商談会の概要の紹介や出展効果などの周知を図り、出展促進を行う。	

【3次評価】	継続	今後の方向性【Plan】 市内事業者に対し商談会等への出展による販路拡大を促すとともに、商談会等への出展の有用性を認識してもらうため、継続して事業を実施する。
--------	----	--

事務事業名	登別市住宅改良促進特別融資積立金		
-------	------------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 12 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	事業機会の拡大と域内循環の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内の建設業者等を活用して住宅改良を行う市民に低利の融資を実施することにより、市民の住環境の向上、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	--	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の住環境の向上、中小企業者等の経営の安定と発展を図る。	
	計 画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・市民が市内の建設業者等を利用して住宅の改良を行う際に、低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。	
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市住宅改良促進特別融資要綱	対 象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内の建設業者等を活用して住宅改良を行う市民

P l a n D o (財源内訳)	名 称		単 位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
道支出金		千円							
地方債		千円							
その他	住宅改良促進特別積立金繰入金	千円	12,000	5,000	8,000	8,000	3,000	4,800	
一般財源		千円							
合 計				12,000	5,000	8,000	8,000	3,000	4,800

事務事業の成果・改善の状況【Do】

・市民が市内の建設業者等を利用して住宅の改良を行う際に、低利の融資を受けられるよう、市が、融資の原資となる積立金を金融機関に預託した。
・各金融機関に当該融資制度の利便性について聴取したところ、他融資制度において低金利のものがあることが分かった。

- 【資金種別及び利率】
住宅改良 1.95% バリアフリー改良 1.75%、新エネルギー関連改良 1.20%
【融資条件】
1件当たり融資限度額300万円・償還期間10年以内
【事業実績】
・新規融資件数 0件
・年間償還額 1,012千円
・年度末融資残高 2,206千円

指標の状況【Check】

指標の区分	指標の名称	単 位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	新規融資件数	件	0	0	0	0	1
指標・実績②	新規融資額	千円	0	0	0	0	1,000
指標・実績③	年度末融資件数	件	11	8	5	4	4
指標・実績④	年度末融資残高	千円	6,778	4,639	3,218	2,206	2,388
指標・実績⑤	年間償還額	千円	4,019	2,139	1,421	1,012	818
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	融資申請件数	件	0	0	0	0	0

課題等の状況【Check】

(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）

【1次評価】	・金融機関において、期間限定商品などとして低金利の融資が行われているが、利用者が少ないこと。	
継続		

【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	・登別商工会議所及び市内の建設事業関係者より当該制度について聴き取り調査を行い、当該制度の休止について検討する。	

【3次評価】	今後の方向性【Plan】	
継続	当該融資制度の利用実績が少ないことから、同様の商品を提供している金融機関や関係する団体と協議を行い、必要性などについて検討を行うこととする。	

事務事業名 商工会議所青年部第30回北海道ブロック大会登別大会補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成29年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成29年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	④にぎわい溢れる商業の振興	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	全道の商工会議所青年部で活躍する青年経済人が集う大会に併せて行われる、市内産業の振興に資する事業等を支援することにより、地域経済の発展や経済交流の促進を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

Plan 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 大会の開催に併せて行われる事業等を支援し、大会の開催効果を市内経済に波及させる。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 商工会議所青年部第30回北海道ブロック大会登別大会の主管団体である登別商工会議所青年部に対し、大会の開催に併せて行われる、市内産業の振興に資する事業等に係る経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 道内の商工会議所青年部会員

Plan 事業費 (財源内訳)	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
	道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円			500	500	500	
	合計			0	0	500	500	500	0

事務事業の成果・改善の状況【Do】
 商工会議所青年部第30回北海道ブロック大会登別大会の主管団体である登別商工会議所青年部に対し、大会の開催に併せて行われる、市内産業の振興に資する経費の一部を補助した。
【事業概要】
 ・市内への経済効果の波及施策
 前泊者ナイト及び登別ナイト
 ・登別ブランド推奨品をはじめとする特産品情報の発信
 物産展、第1～第4分科会、新ご当地グルメの開発
 ・大会を通じた登別観光の魅力発信及びリピーターにつなげる施策
 大会参加記念品（ご当地カードゲーム）
 大会参加者数 677人

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	大会開催日数	日				3	
指標・実績②	前泊者ナイト参加者数	人				62	
指標・実績③	登別ナイト参加者数	人				148	
指標・実績④	ナイトマップ印刷	枚				1,000	
指標・実績⑤	第1分科会参加者数	人				71	
指標・実績⑥	第2分科会参加者数	人				18	
指標・実績⑦	第3分科会参加者数	人				20	
指標・実績⑧	第4分科会参加者数	人				16	
指標・実績⑨	大会参加記念品の開発	件				1	
指標・実績⑩	大会参加記念品の配布数	品				677	
成果指標	大会参加者数	件				677	

課題等の状況【Check】
 (事務事業の実施における課題点等) 財源の検討(補助金・交付金の活用等)

【1次評価】	終了	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
【2次評価】			
【3次評価】	終了	今後の方向性【Plan】	
【4次評価】			

事務事業名		商店街活性化事業補助金	
区分	No.	名称	部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	会計種別
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	一般会計
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	開始年度
主要な施策	4	にぎわい溢れる商業の振興	平成 23 年度
			終了年度
			平成 ー 年度
			事業区分
			ソフト事業
			大型事業推進プラン
			非登載事業

目的	商店街のにぎわい創出に係る事業を支援することにより、商店街の活性化を図り、もって本市における商業の発展に寄与することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 当該補助金の活用実績を増加させる。(対前年度+1件)	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・説明会の実施や広報・HPを活用し、当該補助金の認知度向上に努める。 ・窓口相談があった場合には、相談者に寄り添って対応に努め、申請に対するフォローを実施する。 ・補助金の活用がより効果的なものとなるようフォローする。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市商店街活性化事業補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 「商店街活性化支援事業補助金」市内商店会等 「店舗リフォーム補助金」市内で事業を行う個人および法人

Plan Do (事業費) (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	4,000	2,339	4,000	3,102	2,267	4,000
	合計		4,000	2,339	4,000	3,102	2,267	4,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】

「商店街活性化支援事業補助金」
市内商店会等が実施する、商店街の活性化やにぎわいにつながる先進的、創意工夫が認められる事業に対して補助金を交付した。

【補助率】
ハード事業：補助対象経費の3分の2、上限100万円
ソフト事業：補助対象経費の3分の2、上限50万円。
※複数の商店会等が連携する事業は上限100万円。

【実績】
補助金交付件数 4件
補助金交付額 1,493千円

「店舗リフォーム補助金」
店舗の全部又は一部について、修繕、補修、模様替え、増改築等を行う工事に対し補助金を交付した。
【補助対象経費】店舗の改造、改装に要する経費及び建物と一体となって機能する設備費
【補助率】補助対象経費の2分の1、上限20万円
【実績】
補助金交付件数 5件
補助金交付額 774千円

指標の状況【Check】

指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	商店街活性化支援事業補助金件数（ハード事業）	件	1	1	1	1	1
指標・実績②	商店街活性化支援事業補助金件数（ソフト事業）	件	2	1	1	3	2
指標・実績③	商店街活性化支援事業利用商店会等数	商店会等	3	3	7	13	10
指標・実績④	店舗リフォーム補助金相談件数（補助件数を除く）	件		9	3	5	5
指標・実績⑤	店舗リフォーム補助金件数	件		3	6	5	10
指標・実績⑥	店舗リフォームによる市内事業者への経済波及効果（補助対象事業費）	千円		2,022	4,334	1,865	4,000
指標・実績⑦	補助金説明会の開催	回		1	1	1	1
指標・実績⑧	補助金説明会の参加人数	人		13	13	14	20
指標・実績⑨	広報紙掲載回数	回		1	2	2	2
指標・実績⑩							
成果指標	商店街活性化支援事業補助金件数	件	3	2	2	4	3

課題等の状況【Check】

(事務事業の実施における課題点等)

財源の検討（補助金・交付金の活用等）

【1次評価】	・複数事業を併せて実施することで相乗効果を高める必要がある。(商店街) ・広報掲載、説明会の開催のほか、商工会議所で開催された商店会会長等が集まる会議などで周知を行った。(商店街、リフォーム) ・店舗リフォーム補助金を他の事業者からの口コミで知ったという事業者も多い。(リフォーム)	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】 ・補助金活用に関する相談の段階において、事業効果がより高まるよう継続的に支援する。(商店街) ・各補助金説明会を継続的に実施（全体及び各商店会向け） ・広報やHPを活用した補助金の認知度向上 ・商店街や各事業者が集まる場を活用した制度の周知	行政評価会議及び総合
継続		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】 継続して事業を実施する。
継続		

事務事業名	創業支援事業費		
区分	No.	名称	部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	会計種別 一般会計
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	開始年度 平成 28 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	起業・創業の促進	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登録事業

目的	市内での創業を考えている者及び創業間もない者を支援することにより、市内における創業を促進するとともに、創業後の経営基盤を安定させ、市内経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	統合
----	---	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 当該補助金の活用実績を増加させる。						
	計 画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・市内で創業する者に対して、店舗の賃借や改装等に係る経費の一部を補助する。 ・説明会の実施や広報・ホームページを活用して、当該補助金の認知度を向上させる。 ・補助金支出後も、適宜フォローを行い創業後の経営を安定させるための支援を行う。 ・国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、商工会議所や地域金融機関と連携して創業支援に取り組む。						
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市創業支援事業補助金交付要綱（空き店舗活用事業補助金、事業所開設費補助金）	対 象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 「空き店舗活用事業補助金」市内にある空き店舗を活用して新たに事業を行う者、 「事業所開設費補助金」市内において新たに事業を行う者				
P l a n D o (財源内訳) 事業費	名 称	単 位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	1,000	0	5,000	4,000	3,000	4,000
	一般財源	千円	7,761	4,149	4,175	648	589	4,396
	合 計		8,761	4,149	9,175	4,648	3,589	8,396

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
・ 空き店舗活用事業補助金 市内において空き店舗になってから3カ月以上経過している店舗を利用して事業を行う者に対し、店舗賃借料の一部を補助した。 平成29年度9件（うち新規4件）、平成28年度13件（うち新規5件）、平成27年度10件（うち新規8件）	
・ 事業所開設費補助金 市内において新たに事業活動を行う者に対し、事業所を開設する際に要する経費の一部を補助した。 平成29年度4件、平成28年度5件、平成27年度10件	
・ 創業スクールの実施 経営や財務など、創業時に必要な知識を習得するための講座を実施した。 開 催 日 10月15日、18日、22日、25日、29日、11月1日、15日、19日、26日（午前）、26日（午後） 参加人数 17人	

指標の状況【Check】							
26日、	指標の名称	単 位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	空き店舗活用事業補助金事前相談件数	件		19	9	7	8
指標・実績②	事業所開設費補助金事前相談件数	件		19	9	7	12
指標・実績③	事業所開設費補助金活用件数	件		10	5	4	12
指標・実績④	事業所開設費補助金補助対象経費総額	千円		4,683	2,120	4,635	4,635
指標・実績⑤	事業所開設費補助金を活用した登別温泉町での開設件数	件		2	0	0	1
指標・実績⑥	事業所開設費補助金を活用した登別駅前周辺での開設件数	件		1	0	0	1
指標・実績⑦	補助金説明会参加人数	人		13	13	14	15
指標・実績⑧	登別市創業連絡会議開催数	回			1	0	1
指標・実績⑨	創業スクール開催数	回				10	10
指標・実績⑩	創業スクール開催参加人数	人				17	13
成果指標	空き店舗活用事業補助金活用件数	件	8	10	13	9	8

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・ 補助金が活用できることを知らない、事業を始めてから補助金の申請にくる等、更なる認知度の向上に努める必要がある。		
継続		行政評価会議及び総合	
【2次評価】	今後の取組【Action】		
継続	・ 各補助金説明会の継続な実施 ・ 広報紙やホームページを活用した補助金の認知度向上 ・ 登別商工会議所と連携し、創業者や創業後の経営を安定させるための支援を行う。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		市内における創業を推し進めることにより、市内経済の活性化が期待できることから、継続して事業を実施する。	

事務事業名	企業立地振興補助金
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 60 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	企業立地の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内における企業の立地を促進し、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・市内における企業の立地を促進し、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図る。 ・道外への企業訪問を継続的に実施し、企業が立地先に求める条件などの情報収集に努め、市のニーズにマッチする企業を探していく。 ・特に交流会を通して得られた情報をもとに北海道に進出計画のある企業を優先的に訪問し、企業立地のPRを行う。 ※平成28において、当該事業に係る補助対象企業が存在しなかったため、平成29年度は補助していない。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市企業立地振興条例 登別市企業立地振興条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内に施設を新設し、又は増設する者

Plan Do (財源内訳) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	0	0	0	0	0	0
合計			0	0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
平成28年度において、当該事業に係る補助対象企業が存在しなかったため、補助していない。 【参考：要件】 ・施設の新設又は増設のために投下する固定資産の総額が、3,000万円を超えること ・新たに雇用される常用従業員が、新設にあつては4人以上、増設にあつては2人以上であること	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	新規雇用者数	人	3	0	0	0	0
指標・実績②	投下固定資産税	千円	3,904	0	0	0	0
指標・実績③	継続的な企業訪問数	件	2	4	2	3	3
指標・実績④	新規での企業訪問数	件	3	1	1	1	5
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	企業誘致（増設）件数	件	1	0	0	0	0

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	誘致対象企業の新たな開拓が課題となっている。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】 行政評価会議及び総合
継続	企業訪問等を通して、効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】 効果的な雇用創出等が期待できる企業の立地を促進するため、継続して事業を実施する。
継続	

事務事業名	企業誘致等経費
-------	---------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	企業立地の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込むほか、市内をフィールドとした企業活動を誘致することにより、市内経済や雇用の維持・向上を図るとともに、個性ある地域の産業集積の形成、活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 効果的な雇用創出等が期待できる企業を呼び込む。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・これまで訪問してきた道外企業との交流関係を維持するため企業訪問を行い、企業が立地先に求める条件などの情報収集に努めるとともに、市のニーズにマッチする企業を探していく。 ・北海道に進出計画のある企業を訪問し、企業立地のPRを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市企業立地振興条例	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内外の企業

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円			499	182	777	777	682	511
合 計				499	182	777	777	682	511

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
北海道に進出計画のある企業やこれまで訪問してきた企業を訪問し、市内遊休地や立地に関する優遇制度の紹介を行った。	
【事業内容】	
・企業訪問 平成29年度実績 6件（訪問地域：東京都・神奈川県・愛知県）	
・地域未来投資促進法に関する説明会の参加 開催日 6月26日（月）	
・メッセナゴヤ2017への出展 市内企業の商品サンプルを展示、希望者に登別ブランド推奨品や市内企業を紹介する冊子などを配布した。 開催日 11月8日（水）～11日（土） 登別市ブースへの来訪者 約200人	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	継続的な企業訪問	件	2	4	2	3	3
指標・実績②	新規での企業訪問	件	3	1	1	1	5
指標・実績③	企業誘致研修会の参加回数	延人数	0	4	1	1	1
指標・実績④	企業誘致に関するアンケート調査回収率	%	0	14	0	0	30
指標・実績⑤	企業誘致に関するアンケート調査回収数（製造業）	通	0	1	0	0	30
指標・実績⑥	企業誘致に関するアンケート調査回収数（情報通信業）	通	0	0	0	0	5
指標・実績⑦	企業誘致に関するアンケート調査回収数（運輸業）	通	0	0	0	0	2
指標・実績⑧	企業誘致に関するアンケート調査回収数（卸売業）	通	0	1	0	0	20
指標・実績⑨	企業誘致に関するアンケート調査回収数（学術・開発研究機関）	通	0	0	0	0	1
指標・実績⑩	企業誘致に関するアンケート調査回収数（情報通信技術利用業）	通	0	0	0	0	2
成果指標	訪問及び支援件数	件	5	5	3	4	8

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	誘致対象企業の新たな掘り起こしが必要。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	・企業誘致は短期間で成果が出るような簡単なものではないため、これまで訪問してきた企業については、今後も2年に1回程度は顔つなぎのために訪問していきながら情報収集に努める。 ・誘致対象企業を新たに獲得するため、誘致に関するアンケート調査を実施する。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		効果的な雇用創出等が期待できる企業の立地を促進するため、継続して事業を実施する。	

事務事業名	ものづくり創出支援事業負担金
-------	----------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 15 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	市内産業を担う新たな企業の創出	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	新分野進出と新産業創出の支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた活動を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内において企業が新製品の開発や市場開拓に向けた活動等がしやすい環境を整える。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・広報やホームページなどにより補助制度の周知を行い、市内中小企業等のものづくり創出支援事業補助金の活用を促す。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) ものづくり創出支援事業補助金取扱要綱	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 中小企業者等

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円		3,000	2,720	3,000	3,000	2,800	3,000	
合計				3,000	2,720	3,000	3,000	2,800	3,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
公益財団法人室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」に対して、市内中小企業等が活用した事業に係る経費を負担した。 【実績】9件 2,800千円 【内訳】 ・開発の芽育成支援事業 1件 1,020千円 ・商品化推進支援事業 3件 705千円 ・市場開拓支援事業 5件 1,075千円	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	開発の芽育成支援事業申請件数	件	1	3	2	1	1
指標・実績②	開発の芽育成支援事業交付決定額	千円	655	1,995	1,760	1,020	800
指標・実績③	商品化推進支援事業申請件数	件	5	3	2	3	5
指標・実績④	商品化推進支援事業交付決定額	千円	1,468	861	266	705	1,500
指標・実績⑤	市場開拓支援事業申請件数	件	0	3	2	5	2
指標・実績⑥	市場開拓支援事業交付決定額	千円	0	662	694	1,075	600
指標・実績⑦	ものづくり資格取得支援事業申請件数	件	0	0	0	0	1
指標・実績⑧	ものづくり資格取得支援事業交付決定額	千円	0	0	0	0	100
指標・実績⑨	広報やホームページでの周知回数	回	4	4	4	4	5
指標・実績⑩	市内事業者への交付決定額	千円	2,723	4,103	2,720	2,800	3,000
成果指標	市内事業者からの申請件数	件	7	11	6	9	9

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	新規活用事業者の掘り起しが必要。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	・新規活用事業者の掘り起しのため、広報等を活用し、当該事業の更なる認知度向上を図る。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		市内の中小企業等が「ものづくり創出支援事業」を活用することで、新商品等の開発が促進され、市内産業の育成及び発展に寄与しているため、継続して事業を実施する。	

事務事業名		再生可能エネルギー普及促進事業		
区分	No.	名称		部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち		観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる		会計種別
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成		一般会計
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成		開始年度
主要な施策	4	にぎわい溢れる商業の振興		平成 25 年度
				終了年度
				平成 - 年度
				事業区分
				ソフト事業
				大型事業推進プラン
				非搭載事業

目的	市民や事業者等の再生可能エネルギーに対する理解促進を図るとともに、市内における未利用エネルギーの利活用に向けた可能性を探ることにより、新たな産業として市内経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民や市内事業者の再生可能エネルギーに関する知識を深める。							
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・西いぶり定住自立圏形成協議会と連携し、再生可能エネルギーに関する講演会を開催する。 ・ネイチャーセンターの水路に設置した小水力発電装置を活用し、環境学習を行う。 ・市内小学校での再生可能エネルギーに関する取組を紹介するパネル展を開催する。 ・本市における、再生可能エネルギーを利用した取組の可能性について調査・研究を行う。							
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、市内事業者等					
Plan 事業費 (財源内訳)	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
	道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円	795	532	328	328	138	328
	合計				795	532	328	328	138

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
西いぶり定住自立圏形成協議会と連携し、講演会を開催したほか、再生可能エネルギーに関する各種事業を行った。	
【事業実績】	
・講演会の開催：1回（参加者16人）	
・市内小学校でのパネル展の開催：8回	
・小水力発電装置を活用した環境学習の実施 2回	
・研修会等への出席 9回	
・再生可能エネルギー設備導入施設の視察受入 1件	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	市内小中学校でのパネル展の実施	回	4	4	6	8	10
指標・実績②	市内小中学校でのパネル展実施延日数	延日	76	48	54	54	50
指標・実績③	講演会の開催	回	1	1	1	1	1
指標・実績④	講演会における講師招聘人数	人	2	2	1	1	1
指標・実績⑤	小水力発電装置を活用した環境学習の実施	回			1	2	2
指標・実績⑥	小水力発電装置を活用した環境学習の参加者数	人			26	119	120
指標・実績⑦	小水力発電装置を活用した環境学習の取組み学校数	校			1	1	1
指標・実績⑧	再生可能エネルギー研修会等の参加回数	回	8	9	11	9	8
指標・実績⑨	登別市地熱利用検討会開催回数	回		3	3	1	1
指標・実績⑩	再生可能エネルギー設備導入施設の視察受入	回			3	1	3
成果指標	再生可能エネルギー講演会の参加者数	人	78	75	72	16	50

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	財源の検討（補助金・交付金の活用等）

【1次評価】	・市内小中学校でパネル展や環境学習を行っているが、対象者が限定されている。	
改善		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
改善	・幅広く市民や事業者の再生可能エネルギーへの関心を高めるため、市内の商業施設等におけるパネル展の実施や再生可能エネルギー施設の見学会を行う。	記載のとおり「市内経済の活性化に向けた取り組み」を検討し、事業改善を行ってください。
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
改善		再生可能エネルギーの普及促進を図るため、継続して事業を実施する。

事務事業名	観光まちづくり促進事業補助金		
-------	----------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 29 年度
施策	1	活力ある複合的産業基盤の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	活力ある市内企業の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	にぎわい溢れる商業の振興	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別商工会議所が中心となり組織された、「登別観光まちづくり円卓会議」が実施する事業に対し支援することにより、観光地経営の視点による観光地域づくりをすすめ、観光がもたらす経済効果の市内循環を目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別観光まちづくり円卓会議が実施する観光まちづくり促進事業を支援し、観光まちづくり推進の機運を高める。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 登別商工会議所を中心に組織された、登別観光まちづくり円卓会議が実施する観光まちづくり促進事業に要する経費の一部を補助する。 ・登別地区観光まちづくり「ウェルカムゾーン」の調査研究 ・登別版DMO研究会（仮称）の組成と地域住民の知識習得、機運醸成 ・登別版DMO構築に関する調査研究	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内事業者等

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円					1,200	1,200	1,084	-
合 計				0	0	1,200	1,200	1,084	0

事務事業の成果・改善の状況【Do】

登別商工会議所を中心に組織された、登別観光まちづくり円卓会議が実施する観光まちづくり促進事業に要する経費の一部を補助した。

【事業概要】

- 登別地区観光まちづくり「ウェルカムゾーン」の調査研究
登別地区観光まちづくり協議会の開催 3回
ウェルカムゾーン・拠点施設のイメージ化
- 「観光まちづくり促進セミナー」の実施による知識習得、機運醸成
観光まちづくり促進セミナーの開催 1回
- 登別版DMO構築に関する調査研究
登別版DMO構築に関する調査研究業務報告書 一式

指標の状況【Check】

指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	セミナーの開催	回				1	
指標・実績②	セミナー参加者数	人				30	
指標・実績③	ウェルカムゾーン・拠点施設のイメージ化	式				1	
指標・実績④	報告書作成	式				1	
指標・実績⑤	登別観光まちづくり円卓会議構成団体数	団体				4	
指標・実績⑥	ヒアリング調査対象者数	者				29	
指標・実績⑦	ヒアリング調査延日数	延日				9	
指標・実績⑧	登別観光まちづくり円卓会議開催回数	回				1	
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	登別地区観光まちづくり推進協議会の開催	回				3	

課題等の状況【Check】

（事務事業の実施における課題点等）		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
終了		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
終了	<ul style="list-style-type: none"> 登別商工会議所が中心となって、登別版DMO構築に向けた調査・研究を行う。 引き続き、ウェルカムゾーンの構築に向けて、登別地区観光まちづくり協議会により協議を行う。 登別観光まちづくり円卓会議に参加する。 	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
終了		登別観光まちづくり円卓会議の開催をとおして、観光まちづくり推進の機運を高める。

事務事業名	高校生就職フォローアップ事業費		
区分	No.	名称	部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	観光経済部商工労政G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	一般会計
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	開始年度 平成 14 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	進路選択を控えた高校生に、就職応援講座や就業体験などを支援することで、勤労観や職業観の醸成を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 就職を希望する高校生全員の就職決定		
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座等を実施する。 ・市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施する。		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 高校生

P l a n n o	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	172	157	172	172	157	172
	合計		172	157	172	172	157	172

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
<p>・登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座等を実施した。</p> <p>・市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施した。</p> <p>【就職応援講座等事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校3年生向け就職応援講座（3会場開催） 参加者数64人 ・高校2年生向けキャリア教育講座（3会場開催） 参加者数82人 <p>【インターンシップ事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般企業…参加者数 89人、受入企業数 41事業所 ・看護体験…参加者数 34人、受入病院数 7病院 	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	高校3年生向け 就職応援講座参加総人数	人	25	46	71	64	80
指標・実績②	高校3年生向け 就職応援講座開催数	回	2	3	3	3	3
指標・実績③	高校3年生向け就職応援講座参加人数（登別市）	人	19	24	45	47	40
指標・実績④	高校2年生向け 就職応援講座参加総人数	人	52	43	76	82	80
指標・実績⑤	高校2年生向け 就職応援講座開催数	回	3	3	3	3	3
指標・実績⑥	高校2年生向け就職応援講座参加人数（登別市）	人	22	19	29	50	40
指標・実績⑦	インターンシップ事業参加者数（一般企業）	人	65	96	61	89	89
指標・実績⑧	インターンシップ事業受入企業数（一般企業）	事業所	28	32	24	41	41
指標・実績⑨	インターンシップ事業参加者数（看護体験）	人	13	18	19	34	34
指標・実績⑩	インターンシップ事業受入病院数（看護体験）	病院	5	5	6	7	7
成果指標	新規高卒者の就職率（ハローワーク室蘭管内）	%	100	98.7	100	100.0	100

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・道内における新規高卒就職者の離職率は全国平均を上回る状況にあり、就職のミスマッチ防止や定着率の向上を図る必要がある。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	・高校生の勤労観、職業観の醸成を図り、自らの意志のもと目的意識を持って進路を選択・決定できるよう、進学希望者も対象に含めた就職応援講座や就職体験を継続して実施する。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	継続して事業を実施する。

事務事業名		若年者等キャリアカウンセリング事業		
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	若年者等が就職活動等で抱える不安や悩みなどを解消し、自主的・積極的に就職活動ができるよう支援することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 若年者等が自主的・積極的に就職活動ができるよう、カウンセリングを実施することにより、就職活動等で抱える不安や悩みなどの解消を図る。		
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施する。 ・キャリアカウンセラーによる個別の就職相談の実施（昼間相談：週3日、夜間相談（予約制）：週5日） ・キャリア形成等に関するセミナーの開催（年間6回）		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) ・就職・転職活動中の方 ・就職・転職活動で悩みを抱えている方

P l a n n o （財源内訳） 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	3,772	3,770	3,759	3,759	3,759	3,776
	合計		3,772	3,770	3,759	3,759	3,759	3,776

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施した。	
【事業実績】	
・個別相談（面談）人数	171人
・個別相談（面談）件数	延べ184回
・就職支援セミナー	6回開催、6人参加

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	就職支援セミナー開催回数	回	6	6	6	6	6
指標・実績②	就職支援セミナー総参加人数	人	6	7	8	6	7
指標・実績③	就職支援セミナー市広報周知	回	6	6	6	6	6
指標・実績④	個別相談（面接）人数	人	187	189	132	171	173
指標・実績⑤	個別相談（面接）件数（延べ）	件	227	204	134	184	187
指標・実績⑥	転職相談	件	2	2	22	11	10
指標・実績⑦	職業興味検査	件	3	8	3	5	5
指標・実績⑧	資格取得支援	件	10	1	0	1	4
指標・実績⑨	若年者等キャリアカウンセリング 市広報周知	回	12	12	12	12	12
指標・実績⑩	キャリア・コンサルタント資質向上研修参加者（延べ人数）	人	16	4	11	11	10
成果指標	面談件数	件	227	204	134	184	187

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
【1次評価】	就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーへの参加増を図り、就職のミスマッチ防止や定着率の向上を図る必要がある。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	就職のミスマッチ防止を図り、就職を希望する若年者等が適職に就くことができるよう、今後も継続して事業を実施する。
【3次評価】	
継続	今後の方向性【Plan】 継続して事業を実施する。

事務事業名		雇用対策救済事業		
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 54 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	季節労働者の通年雇用化を促進するとともに、冬期就業の機会を確保し、就労の安定を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定就労に取り組んだ。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 季節労働者等

P l a n n o （財源内訳） 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	27,516	22,275	27,547	27,547	24,401	27,336
	合計		27,516	22,275	27,547	27,547	24,401	27,336

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定した就労に取り組んだ。	
【事業実績】	
・公共施設清掃分（延べ人工 4,155人工・実人数 40人）	
・冬季除雪等分（延べ人工 657人工・実人数 55人）	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	公共施設清掃分 延べ人工	人工	4,404	4,464	4,371	4,155	3,923
指標・実績②	公共施設清掃分 延べ日数	日	2,196	2,384	1,323	1,947	2,527
指標・実績③	公共施設清掃分 実人数	人	41	46	42	40	40
指標・実績④	冬季除雪等分 延べ人工	人工	165	520	609	657	1,750
指標・実績⑤	冬季除雪等分 延べ日数	日	13	45	80	75	875
指標・実績⑥	冬季除雪等分 実人数	人	47	58	67	55	55
指標・実績⑦	総延べ人工数	人工	4,569	4,984	4,980	4,812	5,673
指標・実績⑧	総延べ日数	日	2,209	2,429	1,403	2,471	3,402
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	公共施設清掃等及び除雪作業に従事した実人数	人	88	104	109	95	95

課題等の状況【Check】		
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	・降雪量の減少により除雪の業務が減少していることから、冬期における就労機会の確保を図る必要がある。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	・公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬期）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に事業委託し、季節労働者等の安定就労を図る。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		継続して事業を実施する。

事務事業名	地域職業相談室運営管理経費	
-------	---------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 19 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	雇用情報の提供やキャリア教育の推進等による就業の促進	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	求職活動を行う市民に職業紹介や職業相談を実施することにより、その利便性向上と就職の促進を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 求職活動を行う市民に職業紹介や職業相談を実施することにより、利便性の向上と就職の促進を図る。	
	計 画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ハローワーク室蘭と連携し、地域職業相談室を運営する。 ・職業紹介及び相談時間 10時00分～17時00分（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）	
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 求職活動を行う市民

P l a n D o (財源内訳) 事業費	名 称	単 位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	2,625	2,539	2,613	2,613	2,580	2,613
合 計			2,625	2,539	2,613	2,613	2,580	2,613

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのほりべつ）の管理運営を行った。	
【事業実績】	
・利用者数	9,906人
・相談件数	3,175件

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単 位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	新規受付者数	人	808	723	766	717	750
指標・実績②	相談件数	件	3,704	3,148	3,562	3,175	3,400
指標・実績③	紹介件数	件	2,170	1,676	1,807	1,417	1,800
指標・実績④	就職件数	件	704	565	645	555	620
指標・実績⑤	スタンプ押印件数	件	2,573	2,498	2,133	1,633	2,200
指標・実績⑥	自己検索利用者数	人	8,443	7,384	7,316	6,505	7,400
指標・実績⑦	稼働日数	日	244	243	243	244	243
指標・実績⑧	市広報周知	回	12	12	12	12	12
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	地域職業相談室来室者数	人	14,048	11,659	11,240	9,906	11,700

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	・ハローワーク室蘭と連携し、登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのほりべつ）において職業紹介や職業相談を実施する。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		引き続き、ハローワーク室蘭と連携し、地域職業相談室を運営する。	

事務事業名	労働相談事業助成金
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 4 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成する。 ・相談日時 月～金曜日 10時～16時（予約制） ・場所 連合北海道登別地区連合会事務所 ・その他 月2回、鉄南ふれあいセンターで相談を実施（予約制） 労働相談事業の周知活動の実施 労働相談に対応するための学習会の開催 連合北海道胆振地域協議会が実施する「労働なんでも相談ダイヤル」との連携	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 連合北海道登別地区連合会

Plan (事業費) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成した。	
【事業実績】	
<ul style="list-style-type: none"> 労働相談件数 延べ9件 対応人員 延べ16人 市内大型商業施設前において街頭啓発活動を実施 1回（周知・啓発チラシ及び物品300セット配布） ダイレクトメールを活用した労働相談の啓発活動を実施 1,000枚 公共交通機関の時刻表に労働相談事業実施案内や連絡先等を掲載 1回 講師に専門家を招き労働相談業務に対応するための学習会を開催 1回 連合北海道胆振地域協議会が実施する「労働なんでも相談ダイヤル」との連携 	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	労働相談件数	件	5	7	5	7	7
指標・実績②	対応人員（延べ）	人	24	29	24	16	16
指標・実績③	対応時間（延べ）	時間	14	12	10	8	8
指標・実績④	臨時相談員（延べ）	人	10	17	15	12	12
指標・実績⑤	市広報紙周知回数	回	12	12	12	12	12
指標・実績⑥	労働相談者に係る労働相談事業の情報源（市広報紙）	人	5	5	3	2	2
指標・実績⑦	労働相談者に係る労働相談事業の情報源（TV・新聞等）	人	0	0	0	1	1
指標・実績⑧	労働相談者に係る労働相談事業の情報源（家族・知人等の紹介）	人	0	0	1	2	2
指標・実績⑨	労働相談者に係る労働相談事業の情報源（ポスター、チラシ、雑誌広告等）	人	0	0	1	2	2
指標・実績⑩	街頭啓発活動実施による労働相談の啓発人数	人	300	300	0	300	300
成果指標	労働相談件数（延べ）	件	14	12	9	9	20

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・連合北海道登別地区連合会が実施する労働相談の周知・啓発に係る取組に対し、労働相談に結びつく件数が減少している。
改善	
【2次評価】	今後の取組【Action】
改善	行政評価会議及び総合
【3次評価】	・労働問題に関して専門機関があることは、労働者の労働環境を向上させる上で必要なため、引き続き事業を支援する。 ・市広報紙にて労働相談事業を知った相談者が一定数いるため、引き続き市広報紙での労働相談事業の周知を行う。 ・労働相談に結びつく件数を増加させるため、無期転換ルールなどの労働者に関する情報の周知するほか、連合北海道登別地区連合会が実施する労働相談の周知や啓発活動を行い、労働相談体制の強化を図る。
改善	今後の方向性【Plan】 労働相談体制の充実を図るため、継続して事業を実施する。

事務事業名	勤労者特別融資制度
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 3 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内に居住する勤労者に対して、生活上必要な資金を低利で融資することにより、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 勤労者の生活の安定と福祉の向上を図る。	
	計 画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託する。	
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市勤労者特別融資規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内に居住する勤労者

P l a n D o 事業費 (財源内訳)	名 称	単 位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	12,000	6,000	12,000	12,000	6,000	10,000
	一般財源	千円						
	合 計		12,000	6,000	12,000	12,000	6,000	10,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託した。	
【資金種別】	
・生活資金（一般）：1件あたり貸付限度額100万円、償還期間10年以内、利率2.28%	
・生活資金（特別）：1件あたり貸付限度額30万円、償還期間3年以内、利率1.00%	
・教育資金：1件あたり貸付限度額300万円、償還期間10年以内 利率1.94%	
【事業実績】	
・新規融資件数 1件	
・新規融資額 500千円	
・年間償還額 1,038千円	
・年度末融資残高 5,392千円	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単 位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	新規融資件数	件	0	1	0	1	2
指標・実績②	新規融資額	千円	0	3,000	0	500	4,000
指標・実績③	年度末融資件数	件	15	10	7	5	5
指標・実績④	年度末融資残高	千円	7,731	7,750	5,930	5,392	5,837
指標・実績⑤	年間償還額	千円	3,353	2,980	1,820	1,038	3,555
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	融資申請件数（当該件数）	件	0	1	0	1	1

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・融資制度の利用者が少ない。 ・教育資金については、奨学金や他の教育ローンなど低利の制度があるが、貸付条件に違いがある。	行政評価会議及び総合	
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】		
継続	・市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託する。 ・各学校での情報発信を年末時期に行う。	今後の方向性【Plan】 融資制度を継続する。	
【3次評価】			
継続			

事務事業名	労働福祉センター運営管理経費	
-------	----------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 49 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与することを目的とする。	前回評価	継続
----	------------------------------------	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与するため、登別市労働福祉センターを設置する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 登別市労働福祉センターの運営管理を行う。 ・公益社団法人登別市シルバー人材センターを指定管理者に選定（指定期間：平成28年度～平成32年度）。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市労働福祉センター条例、登別市労働福祉センター条例施行規則、登別市労働福祉センターの管理に関する協定書	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 労働者及びその団体

P l a n n o (財源内訳)	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
道支出金		千円							
地方債		千円							
その他	行政財産使用料	千円	109	107	112	115	115	114	
一般財源		千円	5,992	5,994	5,990	5,987	5,986	5,919	
合計				6,101	6,101	6,102	6,102	6,101	6,033

事務事業の成果・改善の状況【Do】

登別市労働福祉センターの運営管理を行う。
・公益社団法人登別市シルバー人材センターを指定管理者に選定（指定期間：平成28年度～平成32年度）。

指標の状況【Check】

指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	利用件数（延）	件	1,204	1,064	1,095	1,112	1,119
指標・実績②	減額・免除での利用件数	件	1,027	891	922	933	944
指標・実績③	販売・展示目的での利用件数	件	23	23	23	14	20
指標・実績④	講習・研修実施目的での利用件数	件	710	624	594	593	600
指標・実績⑤	会議による利用件数	件	96	45	23	17	20
指標・実績⑥	婦人団体が利用した件数	件	69	58	56	51	60
指標・実績⑦	文化団体が利用した件数	件	0	1	10	26	30
指標・実績⑧	町内会が利用した件数	件	2	2	1	2	10
指標・実績⑨	一般使用料合計	円	158,150	191,350	144,450	132,200	156,538
指標・実績⑩	減額使用料合計	円	380,100	337,750	497,250	470,750	421,463
成果指標	労働福祉センター利用者数	人	17,769	14,620	15,428	16,153	15,993

課題等の状況【Check】

(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）

【1次評価】	・経年により、施設の老朽化が進行している。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上に寄与するため、引き続き登別市労働福祉センターを設置し、年次的に修繕しながら運営管理を行う。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		・労働者及びその団体の福祉増進と文化の向上を図るため、継続して事業を実施する。

事務事業名	婦人センター運営管理経費
-------	--------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 53 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	勤労婦人及び家庭婦人の福祉増進及び文化向上を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	-----------------------------------	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 勤労婦人及び家庭婦人の福祉増進及び文化向上を図るため、登別市婦人センターを設置する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・登別市婦人センターの運営管理を行う。 ・出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性を対象に、再就職に備えた心構えや必要な基礎知識の習得を目指した再就職準備講座など、婦人センター講座を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市婦人センター条例、登別市婦人センター条例施行規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 勤労婦人及び家庭婦人

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金		千円					
道支出金		千円							
地方債		千円							
その他	婦人センター使用料、行政財産使用料、電話使用料	千円	908	842	920	920	851	858	
一般財源		千円	3,487	2,764	3,171	3,171	3,184	4,517	
合計				4,395	3,606	4,091	4,091	4,035	5,375

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
・登別市婦人センターの運営管理を行う。 ・出産や育児、介護等により退職した就労意欲のある女性を対象に、再就職に備えた心構えや必要な基礎知識の習得を目指した再就職準備講座など、婦人センター講座を実施する。 【婦人センター講座事業実績】 ・介護サービス人材確保対策事業 参加者数 8人 ・ワーク・ライフ・バランス実践講座 参加者数 13人 ・健康料理教室 参加者数 23人	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	婦人センター講座開催回数	回	2	2	2	3	2
指標・実績②	婦人センター利用人数	人	16,598	18,278	16,304	15,548	16,700
指標・実績③	婦人センター利用件数	件	1,346	1,341	1,251	1,275	1,300
指標・実績④	婦人センター利用件数（婦人団体）	件	379	421	390	353	385
指標・実績⑤	婦人センター利用件数（文化団体）	件	485	443	395	444	440
指標・実績⑥	婦人センター利用件数（町内会関係）	件	52	39	34	34	40
指標・実績⑦	婦人センター利用件数（教育関係）	件	17	18	26	17	20
指標・実績⑧	婦人センター利用件数（使用料免除団体）	件	269	262	235	211	240
指標・実績⑨	婦人センター利用件数（使用料減額団体）	件	799	792	740	752	770
指標・実績⑩	婦人センター使用料	円	618,010	666,800	808,760	803,340	808,000
成果指標	婦人センター講座参加者数	人	40	28	20	44	30

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・経年により施設の老朽化が進行している。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	行政評価会議及び総合
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	勤労婦人及び家庭婦人の福祉増進及び文化向上を図るため、継続して事業を実施する。

事務事業名	雇用・労働に係る調査啓発
-------	--------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 年度
基本的な方向	1	生涯を通して働ける環境づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	労働環境の向上と勤労者福祉の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内企業における従業員の雇用実態と動向を把握し、労働施策を推進するための基本資料とするため、労働諸条件を調査する「労働基本調査」の実施や結果公表を通し、労働法制の周知・啓発や労働条件の向上を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 労働基本調査の回答率を向上する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 市内企業を対象に、正規従業員やパートタイマーの労働諸条件（賃金、一時金、労働時間、年次有給休暇、定年、再雇用、退職金など）を隔年（奇数年度）で調査する「労働基本調査」を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市内企業

P l a n n o （財源内訳）	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	0	59	59	47	0
	合計			0	0	59	59	47

事務事業の成果・改善の状況【Do】

市内に所在する民間事業所のうち、おおむね従業員5人以上の事業所を対象に、雇用条件等の実態と動向を把握し、労働行政の施策を推進していくための基礎資料とするため、労働諸条件等を調査し、市ホームページにおいて公表した。

【事業の概要】
 労働基本調査対象事業所数 367事業所
 労働基本調査回答事業所数 141事業所
 労働基本調査回答率 38.4%

指標の状況【Check】									
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標		
指標・実績①	労働基本調査回答事業所数	事業所		124		141			
指標・実績②	建設業 回答事業所数	事業所		30		33			
指標・実績③	建設業 回答率	%		24.2		23.4			
指標・実績④	製造業 回答事業所数	事業所		12		10			
指標・実績⑤	製造業 回答率	%		9.7		7.1			
指標・実績⑥	卸売業 回答事業所数	事業所		24		30			
指標・実績⑦	卸売業 回答率	%		19.4		21.3			
指標・実績⑧	サービス業 回答事業所数	事業所		35		42			
指標・実績⑨	サービス業 回答率	%		28.2		29.8			
指標・実績⑩	その他 回答率	%		18.5		18.4			
成果指標	労働基本調査回答率	%		34.0		38.4			

課題等の状況【Check】

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・労働基本調査の回答率が低いこと。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	引き続き、市内企業を対象に、正規従業員やパートタイマーの労働諸条件（賃金、一時金、労働時間、年次有給休暇、定年、再雇用、退職金など）を隔年（奇数年度）で調査する「労働基本調査」を実施する（次回調査予定：平成31年度）。		
【3次評価】	また、調査票を直接渡すほか、電話連絡を行うことで回答率の向上を目指す。		
継続		今後の方向性【Plan】 労働施策を推進するための基本資料とするため、継続して事業を実施する。	

事務事業名	事業内職業訓練助成金
-------	------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部商工労政G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 52 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	産業を担う人材の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	職業能力の向上・開発の支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登録職業訓練協会が実施する職業能力開発推進法に基づく認定職業訓練を支援することにより、地域の企業で働く技能労働者の育成を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登録職業訓練協会が実施する事業内職業訓練を支援することにより、市内企業で働く技能労働者の育成を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 職業能力開発促進法に基づく事業内職業訓練事業を実施している登録職業訓練協会に助成金を交付する。 【職業訓練課程】 ・2年間（木造建築科、建築板金科、建築塗装科、建築設計科） ・1年間（経理事務科、OAシステム科）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登録市補助金等の事務取扱に関する規則、職業能力開発推進法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 職業訓練法人登録職業訓練協会

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	合計		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
事業内職業訓練事業を実施する同協会に対し、当該職業訓練の実施に要する経費の一部を助成した。	
【職業訓練課程】 ・2年間（木造建築科、建築板金科、建築塗装科、建築設計科） ・1年間（経理事務科、OAシステム科）	
【受講者数】 ・木造建築科 0人、建築板金科 4人、建築塗装科 0人、建築設計科 0人、経理事務科 0人、OAシステム科 0人	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	修了者数	人	2	2	0	3	1
指標・実績②	職業訓練指導員（実技）	人	5	3	3	3	5
指標・実績③	職業訓練指導員（学科）	人	8	6	5	5	6
指標・実績④	職業訓練指導員（総数）	人	9	6	5	5	6
指標・実績⑤	受講者数（木造建築科）	人	0	0	0	0	0
指標・実績⑥	受講者数（建築板金科）	人	2	2	3	4	1
指標・実績⑦	受講者数（建築塗装科）	人	2	0	0	0	1
指標・実績⑧	受講者数（建築設計科）	人	0	0	0	0	0
指標・実績⑨	受講者数（経理事務科）	人	0	0	0	0	0
指標・実績⑩	受講者数（OAシステム科）	人	0	0	0	0	0
成果指標	受講者数	人	4	2	3	4	2

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・技能労働者の育成に取り組むため、受講者の増加を図る必要がある。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	・引き続き、登録職業訓練協会が実施する事業内職業訓練を支援する。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		技能や技術の継承を図るため、継続して支援する。	

事務事業名	日本工学院北海道専門学校連携事業		
-------	------------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	2	雇用の安定と快適な就業環境づくりの推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	産業を担う人材の育成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	職業能力の向上・開発の支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	日本工学院北海道専門学校と連携・協力することにより、同校スタッフの高度な専門的知識や学生の活力をまちづくりに活用し、個性豊かな地域社会の形成・発展や未来を担う人材の育成、さらに市民の教育・文化活動の振興などを図ることを目的とする。	前回評価	拡大
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 包括連携協定に基づき、日本工学院北海道専門学校の運営や学生確保の取組に対し支援を行うとともに、まちづくりに関して包括的な連携を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・日本工学院北海道専門学校の学生の確保及び観光産業の人材育成に資するため、観光ビジネス学科に在籍する外国人留学生の寮費の減免額相当として、登別市留学生支援事業補助金を交付する。 ・日本工学院北海道専門学校の施設管理経費（簡易水道料金）の一部として補助金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 包括連携協定書（平成27年9月1日付け締結） 登別市留学生支援補助金交付要綱 登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 日本工学院北海道専門学校及び同校の学生

P l a n n o (事業費 財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0
道支出金		千円	0	0	0	0	0	0
地方債		千円	0	0	0	0	0	0
その他		千円	0	0	0	0	0	0
一般財源		千円	2,750	2,538	8,690	5,745	5,333	16,874
	合計		2,750	2,538	8,690	5,745	5,333	16,874

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
・登別市留学生支援補助金を交付した。 補助額：4,495,000円（留学生13名分）	・日本工学院専門学校専門学校運営補助金（施設管理経費補助金）を交付した。 補助額：827,933円
・移動図書館者「こぐま号」のラッピングデザインをCGデザイナー科の学生に依頼し制作した。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	日本工学院北海道専門学校の入学者数	人	263	226	159	236	219
指標・実績②	ビジネス学科留学生の入学者数	人				13	25
指標・実績③	登別市留学生支援補助金の対象留学生数	人				13	37
指標・実績④	出身地域別留学生数（中国）※登別市留学生支援補助金の対象留学生数の再掲	人				4	19
指標・実績⑤	出身地域別留学生数（韓国）※登別市留学生支援補助金の対象留学生数の再掲	人				8	16
指標・実績⑥	出身地域別留学生数（香港・マカオ）※登別市留学生支援補助金の対象留学生数の再掲	人				1	2
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	日本工学院北海道専門学校の学生数（各年度5月1日現在）	人	515	475	381	367	423

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	【登別市留学生支援補助金】 特別交付税（留学生の支援のために行う事業に要する経費）補助額×0.8×財政力補正（本市は1.0）	
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	・観光ビジネス学科の定員の増加に伴い、登別市留学生支援補助金の対象とする留学生の上限を60人（1学年30人×2学年）とするため、登別市留学生支援補助金交付要綱の一部を改正した。 （施行日：平成30年4月1日）		
【3次評価】	・引き続き包括連携協定に基づき支援を行う。		
継続		今後の方向性【Plan】 引き続き包括連携協定に基づき支援を行う。	

事務事業名	観光ホスピタリティ推進事業補助金		
-------	------------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 元 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	温かいおもてなしの心の醸成	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う事業を支援することにより、地域ぐるみで観光客におもてなしの心で提供できる取組を推進することを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う事業を支援し、魅力ある観光地づくりを推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 観光ボランティアガイド活動などに取組む、登別市観光ホスピタリティ推進協議会の活動を支援する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会

P l a n D o 事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	900	900	900	900	900	900
	合計			900	900	900	900	900

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う観光ボランティアガイド活動などの観光ホスピタリティ事業等に対して、その要する経費の一部を補助した。 【登別市観光ホスピタリティ推進協議会の実施事業】 ・自然観察事業（橋湖散策会） 1回目：6月11日（19名）、2回目：8月6日（10名）、3回目：10月15日（23名） ・観光ボランティア支援事業（観光ボランティアガイド活動等） 5月1日～10月31日：ガイド実績 団体24件、個人1,067件（案内人数計4,423名） ・「我が街再発見観光市民講座」の実施 開催日：10月2日 参加者数：100名	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	観光ボランティアガイド人数	人	37	39	36	34	35
指標・実績②	橋湖散策会開催回数	回	3	3	3	3	3
指標・実績③	橋湖散策会参加人数	人	84	49	35	52	55
指標・実績④	我が街再発見観光市民講座事業費	千円	55	100	100	100	100
指標・実績⑤	我が街再発見観光市民講座参加者数	人	13	88	108	100	110
指標・実績⑥	観光ボランティアガイド活動日数	日	172	177	172	171	172
指標・実績⑦	観光ボランティアガイド総活動人数	人	542	609	604	594	600
指標・実績⑧	観光ボランティアガイド研修開催回数	回	1	1	1	1	1
指標・実績⑨	観光ホスピタリティ全道大会参加人数	人	16	16	13	11	13
指標・実績⑩							
成果指標	ガイド実績（総案内人数）	人	3,309	5,064	4,628	4,423	4,500

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	事業の実施により、当市の観光ホスピタリティ向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う事業を支援し、魅力ある観光地づくりを推進する。	

事務事業名	「市民が育む登別観光」事業
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	温かいおもてなしの心の醸成	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民に登別地獄まつり「鬼踊り」への参加や日帰り入浴を促すことにより、「観光都市のぼりべつ」の一員として意識や一体感を高めることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 「観光都市のぼりべつ」の一員としての意識や一体感の醸成に向け、持続可能な事業内容検討について連合町内会や（一社）登別国際観光コンベンション協会との協議を継続すること。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 ・登別市内温泉ホテル、旅館の利用促進事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市民

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円			2,225	2,158	2,220	2,220	2,177	2,220
合 計				2,225	2,158	2,220	2,220	2,177	2,220

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
<p>第55回登別地獄まつり鬼踊りの市民参加を促進するため、事業に取り組んだ。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業 各町内会で登別地獄まつり鬼踊りに参加した市民に日帰り入浴券1,000円分（500円×2枚）を交付。 参加者団体数：33団体 参加者数：482名 500円券使用枚数：708枚 登別市内温泉ホテル、旅館の利用促進事業 各町内会行事において、8名以上で登別市内の温泉ホテル・旅館を利用する場合額の利用券を交付。 宿泊利用：2団体 日帰利用：41団体 	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	鬼踊り参加者の日帰り入浴券使用枚数	枚	535	604	766	708	760
指標・実績②	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 宿泊利用人数	人	0	0	25	40	50
指標・実績③	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 宿泊利用団体数	団体	0	0	1	2	2
指標・実績④	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 日帰り利用人数（19人以下）	人	0	0	17	16	19
指標・実績⑤	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 日帰り利用団体数（19人以下）	団体	0	0	1	1	1
指標・実績⑥	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 日帰り利用人数（20～50人）	人	552	1,222	1,021	924	840
指標・実績⑦	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 日帰り利用団体数（20～50人）	団体	22	46	40	36	42
指標・実績⑧	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 日帰り利用人数（51人以上）	人	130	109	170	209	153
指標・実績⑨	市内温泉ホテル・旅館利用促進事業 日帰り利用団体数（51人以上）	団体	2	2	3	4	3
指標・実績⑩							
成果指標	鬼踊り参加者数	人	394	302	383	482	500

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・登別地獄まつり「鬼踊り」参加者、市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業、いずれについても実績が前年度を上回り、事業目的が概ね達成された。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】 行政評価会議及び総合
継続	事業実施により、登別観光に対する市民意識醸成に資することから、事業を継続する。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】 実績に鑑み、平成31年度以降の事業内容について、連合町内会や（一社）登別国際観光コンベンション協会と協議を継続する。
継続	

事務事業名	観光施設維持管理経費
-------	------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 45 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	国立公園内にある各観光施設の維持管理や美化清掃を行い、観光客に快適に利用していただくことを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・ 国立公園内の清掃美化に取り組む一般財団法人自然公園財団登別支部に国立公園清掃活動費補助金の交付 ・ カルルス温泉駐車場清掃業務の委託	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 自然公園法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

P l a n Do (財源内訳)	名称	単位	H28当初	H28決算	H29当初	H29最終	H29決算	H30当初
			予算		予算	予算		予算
国庫支出金		千円						
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	大湯沼駐車場敷地使用料、行政財産使用料	千円	63	63	63	63	56	55
一般財源		千円	3,164	1,901	3,114	2,196	1,802	2,186
	合計		3,227	1,964	3,177	2,259	1,858	2,241

事務事業の成果・改善の状況【Do】

【事業実績】

- 観光施設に関連する土地（大湯沼駐車場敷地等）の賃借
- カルルス温泉駐車場の清掃業務委託
- （一財）自然公園財団登別支部への国立公園内清掃活動費補助金の交付

指標の状況【Check】

指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客延数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客延数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	地獄の谷の鬼火火来場者数	人	39,800	48,978	49,800	54,690	55,000
指標・実績⑤	大湯沼駐車場年間貸付面積	ha	0.1707	0.1707	0.1707	0.1731	0.1731
指標・実績⑥	カルルス温泉冬まつり来場者数	人	1,600	1,100	1,650	700	1,000
指標・実績⑦	カルルス温泉サンライバスキー場来場者数	人	20,920	17,157	18,973	18,550	19,000
指標・実績⑧	カルルス温泉地区宿泊客数	人	1,680	1,723	1,083	1,188	1,200
指標・実績⑨	カルルス温泉地区日帰り客数	人	24,905	28,451	26,946	24,667	25,000
指標・実績⑩	地獄谷駐車場利用者数	人	948,388	1,104,852	1,065,043	1,164,627	1,164,627
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,851	4,048	4,240

課題等の状況【Check】

(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した、または契約・協定等により市が管理することとしている施設については、市が主体となって管理する。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		観光客が快適にかつ安全に利用できる施設として、市が整備した、または契約・協定等により市が管理することとしている施設については、市が主体となって管理する。

事務事業名	地獄谷木道改修事業
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 30 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	多くの観光客が利用している地獄谷の木道を改修、観光客に安心・安全に利用していただくことを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 硫黄や風雪雨による劣化が進行している鉄泉池遊歩道の一部改修を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 鉄泉池遊歩道の腐食が進んだ床板及び手摺等の取替	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 地獄谷遊歩道

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金	自然公園等整備事業補助金	千円	8,500	7,171				4,349
地方債		千円	6,300	5,300				3,200
その他	観光開発基金積立金繰入金	千円						
一般財源		千円	2,200	1,872	0	0	0	1,150
	合 計		17,000	14,343	0	0	0	8,699

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
平成29年度事業実施なし	

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標の区分	指標の名称						
指標・実績①	宿泊客延数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客延数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	地獄谷木道改修事業に係る委託料	千円	0	2,840	1,166	344	500
指標・実績⑤	地獄谷木道改修事業に係る修繕料	千円	4,050	9,612	6,739	0	8,699
指標・実績⑥	地獄谷駐車場利用台数（二輪車）	台	729	693	702	710	710
指標・実績⑦	地獄谷駐車場利用台数（乗用車）	台	75,018	77,713	79,937	91,439	91,439
指標・実績⑧	地獄谷駐車場利用台数（マイクロバス）	台	1,073	1,221	1,470	1,720	1,720
指標・実績⑨	地獄谷駐車場利用台数（大型バス）	台	20,186	24,363	22,928	24,680	24,680
指標・実績⑩	地獄の谷の鬼花火来場者数	人	39,800	48,978	49,800	54,690	55,000
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,851	4,048	4,240

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
(事務事業の実施における課題点等)		
【1次評価】	利用者の増加に伴い、今後修繕の頻度が多くなることが予想されるため、安定的な財源確保が必要。	自然公園等整備事業補助金
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	観光客が快適かつ安全に利用できる施設として、市が整備した施設については、市が主体となって管理する。なお、他施設の修繕計画を考慮し、今後未改修部分の整備を行う。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		

事務事業名	観光施設維持管理委託料
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活気に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	国立公園内にある各観光施設の維持管理や美化清掃を行い、観光客に快適に利用していただくことを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 観光客が快適に利用できるよう、国立公園内にある各観光施設について、（一社）登別国際観光コンベンション協会への委託により、維持管理を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 地獄谷遊歩道コンクリート補修 地獄谷周辺遊歩道階段修理 地獄谷周辺遊歩道手摺修理 大湯沼トイレ補修等	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 国立公園内の各観光施設

P l a n n o （財源内訳） 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	合計			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
観光客が快適に利用できるよう、国立公園内にある各観光施設について、（一社）登別国際観光コンベンション協会への委託により維持管理を行った。	
【修繕実施】	
<ul style="list-style-type: none"> ・足湯木道付近の伐採後の補修 ・地獄谷展望台補修費 ・地獄谷遊歩道照明器具修繕 ・鬼火の路に係るライト修繕 ・登別園地内補修等 	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	観光入込客数	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240
指標・実績②	宿泊客延数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績③	日帰り客数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績④	外国人宿泊客延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績⑤	巡回回数（4～6月）	回			9	23	23
指標・実績⑥	巡回回数（7～9月）	回			13	22	22
指標・実績⑦	巡回回数（10～12月）	回			21	15	15
指標・実績⑧	巡回回数（1～3月）	回			24	15	15
指標・実績⑨	国立公園内に係る補修材購入費	千円			387	297	250
指標・実績⑩	鬼火の路に係るライト修繕費	千円			352	162	150
成果指標	国立公園内事故報告件数	件	0	0	0	0	0

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	事業の実施により、より迅速に、国立公園内にある各観光施設の維持管理を行うことができるため、今後も事業を継続する。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		国立公園内にある各観光施設を観光客が快適にかつ安全に利用できるよう、より迅速な維持管理を実施する。	

事務事業名	国立公園清掃活動事業補助金
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 59 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	国立公園内の環境美化を図ることで観光客の満足度を高め、快適に利用できることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 支笏洞爺国立公園登別地区の自然環境を美しく保持するため、重点清掃地域の清掃を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 国立公園内の環境美化を図るため、清掃や小破修繕等を行う（一財）自然公園財団登別支部に補助金を交付し支援する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	500	500	500	500	500	500
	合計		500	500	500	500	500	500

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
国立公園内の環境美化を図るため、清掃や小破修繕等を行う（一財）自然公園財団登別支部に補助金を交付し支援した。	
【事業実績】	
・清掃活動（登別温泉地区、カルルス地区、新登別地区、中登別交差点、オロフレ峠駐車場、道道洞爺湖登別線、オロフレトンネル内等）	
・小破修繕（遊歩道、木道等）	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客延べ数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客延べ数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人客宿泊延べ数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	ゴミ処分量（4～9月）	kg	8,140	8,260	6,660	7,570	7,570
指標・実績⑤	ゴミ処分量（10～3月）	kg	7,910	6,940	7,510	6,370	6,370
指標・実績⑥	地獄谷駐車場利用台数（二輪車）	台	729	693	702	710	710
指標・実績⑦	地獄谷駐車場利用台数（乗用車）	台	75,018	77,713	79,937	91,439	91,439
指標・実績⑧	地獄谷駐車場利用台数（マイクロバス）	台	1,073	1,221	1,470	1,720	1,720
指標・実績⑨	地獄谷駐車場利用台数（大型バス）	台	20,186	24,363	22,928	24,680	24,680
指標・実績⑩	地獄の谷の鬼花火来場者数	人	39,800	48,978	49,800	54,690	55,000
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,851	4,048	4,240

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	事業の実施により、観光地としてのイメージ向上に資することから、今後も事業を継続する。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	国立公園内にある各観光施設を観光客が快適に利用できるよう環境美化に努める。

事務事業名		フラワーファンタジーロード事業補助金		
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	主要道路の緑化風景を創出することにより、花観光を推進し、誘客に繋げることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業に対して、補助を行い、主要道路の緑化風景を創出すること。		
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・桜坂駐車公園及び中央分離帯の草刈り及び草取り ・中央分離帯及び植樹帯への一年草及び多年草の植栽		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市フラワーファンタジーロード事業補助金交付要綱	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市観光ホスピタリティ推進協議会の活動内容

P l a n D o 事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	650	650	650	650	650	650
	合計			650	650	650	650	650

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業に対して、その要する経費の一部を補助した。	
【事業内容】	
・草刈り及び草取り ①中央分離帯IC前～旧ユートピア牧場前 実施回数：2回 実施日：7月20日、8月17日～8月18日 ②中央分離帯植栽箇所及び駐車公園 実施回数：1回 実施日：7月20～7月24日	
・花の植栽及び施肥（森々亭前から登別伊達時代村入口までの中央分離帯半円花壇）	
・桜坂駐車公園おもてなし花壇の造成	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客延べ数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客延べ数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客延べ数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	花の植栽及び施肥箇所	箇所		8	6	6	6
指標・実績⑤	中央分離帯IC前～旧ユートピア牧場前草刈り及び草取り回数	回	2	2	2	2	2
指標・実績⑥	中央分離帯IC前～旧ユートピア牧場前草刈り及び草取り日数	日		8	5	3	5
指標・実績⑦	中央分離帯植栽箇所並びに駐車公園草取り及び草取り回数	回	4	3	1	1	2
指標・実績⑧	中央分離帯植栽箇所並びに駐車公園草取り及び草取り日数	日		11	1	5	5
指標・実績⑨	桜坂公園おもてなし花壇の除草作業回数	回	5	8	8	10	10
指標・実績⑩	桜坂公園おもてなし花壇の除草作業日数	日		8	8	10	10
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,851	4,048	4,240

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検証、実施しているが、事業内容に変更はない。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	事業の実施により、観光地としてのイメージ向上に資することから、今後も事業を継続する。
【3次評価】	
継続	今後の方向性【Plan】 登別温泉への主要道路の景観を高め、観光地としてのイメージ向上を図るため、引き続き、登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行うフラワーファンタジーロード事業を支援していく。

事務事業名	観光案内看板等整備事業
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 29 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	安全安心な観光施設の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	観光案内看板の整備、改修を促進し、観光客の利便性向上を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 観光案内看板の整備、改修を行い、観光客の利便性向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 観光案内看板について、破損や老朽化が進んでいることから、多言語表記にするなど一部改修を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 (一社) 登別国際観光コンベンション協会

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	1,250	1,240	1,250	1,250	1,242	0
	合計		1,250	1,240	1,250	1,250	1,242	0

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
・観光案内看板外国表記の統一	・破損及び老朽化が進行した看板の改修
【事業実績】	
・案内看板の更新（登別温泉バスターミナル、登別国際観光コンベンション協会）	・案内看板の表示変更（登別温泉ふれあいセンター前、玉の湯横、鬼祠前、清水屋前、石水亭前、大湯沼駐車場、地獄谷遊歩道）

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客延数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客延数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	看板整備枚数	枚			3	12	12
指標・実績⑤	表示言語数	言語			3	3	3
指標・実績⑥	地獄まつり来場者数	人	70,200	65,050	63,457	61,235	65,000
指標・実績⑦	湯まつり来場者数	人			1,600	800	1,000
指標・実績⑧	地獄の谷の鬼花火来場者数	人	39,800	48,978	49,800	54,690	55,000
指標・実績⑨	地獄谷駐車場利用者数	人	948,388	1,104,852	1,065,043	1,164,627	1,164,627
指標・実績⑩	地獄谷駐車場利用台数（二輪車・乗用車・大型バス等）	人	97,006	103,990	105,037	118,549	118,549
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,851	4,048	4,240

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	
終了	
【2次評価】	今後の取組【Action】
終了	行政評価会議及び総合
【3次評価】	
終了	今後の方向性【Plan】

事務事業名	登別観光協会助成金
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	観光客受入体制の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	観光振興に重要な役割を担う（一社）登別国際観光コンベンション協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	（平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください） 観光振興に重要な役割を担う観光振興に重要な役割を担う（一社）登別国際観光コンベンション協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。 （目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください） （一社）登別国際観光コンベンション協会に対して、運営管理に係る経費の一部を補助	
	計画		
	根拠	（根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入） 対象 （ハード事業の場合は、施設名を記入） （一社）登別国際観光コンベンション協会	

P l a n n o （財源内訳）	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600
	合計		20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
（一社）登別国際観光コンベンション協会に対して、運営管理に係る経費の一部を補助した。 【活動内容】 ・総会、理事会、役員会等の開催 ・観光協会運営管理業務 ・会報及び協会ニュースの発行 ・街傘の設置業務 ・各種研修会、講習会の実施及び観光、温泉に関する調査研究 ・親切運動及びホスピタリティの向上 ・国内観光関係団体との交流、懇談 ・国際交流、親善の実施 ・関係機関への陳情、要望	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	観光客宿泊延べ数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客延べ数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客延べ数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	登別国際観光コンベンション協会 正職員数	人	3	3	5	6	6
指標・実績⑤	登別国際観光コンベンション協会 非正規職員数	人	3	3	2	2	2
指標・実績⑥	登別国際観光コンベンション協会 総会開催回数	回	1	1	1	2	2
指標・実績⑦	登別国際観光コンベンション協会 理事会開催回数	回	4	7	2	7	7
指標・実績⑧	登別国際観光コンベンション協会 総会役員会開催回数	回	8	8	3	4	4
指標・実績⑨	登別国際観光コンベンション協会 正会員数		102	102	101	98	98
指標・実績⑩	登別国際観光コンベンション協会 賛助会員数		53	49	44	57	57
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】	
（事務事業の実施における課題点等） 事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。	
継続	今後の取組【Action】 安定的な事業運営を実施するため、今後も事業を継続することが相当である。
	行政評価会議及び総合 今後の方向性【Plan】 魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、（一社）登別国際観光コンベンション協会の活動を支援すること。
継続	

事務事業名		インフォメーションプラザ事業補助金		
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 24 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	観光客受入体制の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	外国人を含む登別市を訪れる観光客への観光案内や、さまざまな観光情報の発信を通じて、観光客の満足度を向上させることで、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 外国人を含む登別市を訪れる観光客への観光案内や、さまざまな観光情報の発信を通じて、観光客の満足度を向上させることで、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・（一社）登別国際観光コンベンション協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) インフォメーションプラザ事業補助金交付要綱	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 (一社) 登別国際観光コンベンション協会

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円			3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
合計				3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、（一社）登別国際観光コンベンション協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、その要する経費の一部を補助した。	
【事業内容】	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本人及び外国人観光客への観光案内業務（窓口及び街頭） ・（一社）登別国際観光コンベンション協会ホームページ及びブログの更新業務 ・観光イベントや誘客事業等における通訳業務 ・観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務 	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	観光客入込客数	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240
指標・実績②	宿泊延数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績③	日帰り客数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績④	外国人宿泊延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績⑤	日本人観光客来店者数	千人	7,370	6,548	5,446	5,990	6,000
指標・実績⑥	外国人観光客来店者数	千人	11,737	9,908	8,699	9,569	9,600
指標・実績⑦	通訳可能言語数	言語	3	3	3	3	3
指標・実績⑧	配置人数	人	2	2	2	2	2
指標・実績⑨	登別国際観光コンベンション協会 正会員数	軒	102	102	101	98	98
指標・実績⑩	登別国際観光コンベンション協会 賛助会員数	軒	53	49	44	57	97
成果指標	インフォメーションプラザ利用者数	人	19,387	16,366	14,145	15,559	15,600

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	事業の実施により、外国人を含む観光客へのサービス向上に資することから、今後も事業を継続することが相当である。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、（一社）登別国際観光コンベンション協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、その要する経費の一部を補助する。	

事務事業名		観光振興特別対策事業補助金				
区分	No.	名称			部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち			会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる			開始年度	平成 6 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり			終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	国内外の観光客に優しい観光地づくり			事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	観光客受入体制の整備			大型事業推進プラン	非登載事業

目的	(一社) 登別国際観光コンベンション協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) (一社) 登別国際観光コンベンション協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) (一社) 登別国際観光コンベンション協会が行う誘客宣伝事業等に対して、それに要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) (一社) 登別国際観光コンベンション協会

P l a n n o (財源内訳) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	44,852	44,852	44,852	44,852	44,852	44,852
	合計		44,852	44,852	44,852	44,852	44,852	44,852

事務事業の成果・改善の状況【Do】	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊延数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	観光誘客イベント参加数(道外)	回	5	6	5	5	5
指標・実績⑤	観光誘客イベント参加数(道内)	回	3	1	2	5	5
指標・実績⑥	宣伝印刷物作成数	種類	4	3	5	8	8
指標・実績⑦	テレビ・ラジオ放送件数	件	19	15	10	13	13
指標・実績⑧	地獄の谷の鬼火来場者数	人		41,160	49,800	54,690	55,000
指標・実績⑨	登別地獄まつり来場者数	人	70,200	65,050	63,457	61,235	65,000
指標・実績⑩	登別温泉湯まつり来場者数	人			1,600	800	1,000
成果指標	観光入込客数(年間)	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討(補助金・交付金の活用等)	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	本市の基幹産業である観光の振興にあたっては、市と(一社)登別国際観光コンベンション協会が協力し、推進する必要があるため、今後もその運営を支援することが相当であり、(一社)登別国際観光コンベンション協会が実施する事業の更なる活性化を図る。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	(一社)登別国際観光コンベンション協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。

事務事業名		カルルス温泉スキー場事業	
区分	No.	名称	部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	観光経済部観光振興G
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	会計種別
施策	3	魅力ある観光地づくり	カルルス温泉スキー場事業特別会計
基本的な方向	2	感動と癒しのある観光地づくり	開始年度
主要な施策	1	観光資源の充実と利用促進	昭和 38 年度
			終了年度
			平成 一 年度
			事業区分
			ソフト事業
			大型事業推進プラン
			非登載事業

目的	観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 修学旅行生などの観光客の誘客を促進するとともに、市民のウィンタースポーツの普及などに努め、スキー場の安定経営を目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・地元の利用者の拡大 ・修学旅行・宿泊研修の獲得 ・インバウンド利用者の確保	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 自然公園法、登別市カルルス温泉スキー場条例及び管理規程	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) スキー場利用客

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	88,668	80,674	91,837	91,837	84,454	89,013
	一般財源	千円	24,332	20,855	24,163	24,163	23,523	24,487
	合計		113,000	101,529	116,000	116,000	107,977	113,500

事務事業の成果・改善の状況【Do】

安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、スキー場利用の促進に努めた。事業運営については(株)登別ゴルフ場に(平成28年5月1日～平成33年3月31日)業務委託を行った。

【実施事業】
カルルス温泉冬まつり、手ぶらスキー・スノーボード体験、ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験、2回目・1日券半額事業、スキー教室等また、平成26年度から手ぶらスキー・スノーボード体験の対象を胆振11市町とし、平成29年度よりレンタル料金を4時間1,500円から2,000円、1日2,400円から3,000円へ改定した。

指標の状況【Check】								
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	
指標・実績①	カルルス温泉冬まつり来場者数	人	1,600	1,100	1,650	700	1,000	
指標・実績②	修学旅行利用者数(道内)	校	9	8	7	7	8	
指標・実績③	修学旅行利用者数(道外)	校	6	6	6	8	8	
指標・実績④	オープン日数	日	100	86	94	94	94	
指標・実績⑤	悪天候等によるクローズ日数	日	0	2	0	2	0	
指標・実績⑥	正規職員数	人	9	7	6	6	6	
指標・実績⑦	非正規職員数	人	39	40	44	43	44	
指標・実績⑧	手ぶらでいぶり利用者数	人			2,704	2,448	2,500	
指標・実績⑨	ちびっこ集まれスキー・スノーボード初体験参加人数	人			38	33	40	
指標・実績⑩	インバウンド利用者数	人					100	
成果指標	輸送人員	人	294,836	243,490	281,385	278,254	280,000	

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	財源の検討(補助金・交付金の活用等)
【1次評価】	第1リフト索道について、昭和58年に建設し、34年経過しており、老朽化が著しく原動緊張装置及び付帯設備の改修が急務である。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	事業の実施により、観光振興及びウィンタースポーツの振興とカルルス地区の活性化に資することから、今後も事業を継続することが相当である。
【3次評価】	行政評価会議及び総合
改善	平成31年中に経営戦略を策定し、大規模な節更新の方向性を定めてください。
	今後の方向性【Plan】
	安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、スキー場利用の促進を図るため、平成31年度中に経営戦略を策定する。

事務事業名	登別市・白老町観光連絡協議会負担金		
-------	-------------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	感動と癒しのある観光地づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	滞在型観光の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進する。		
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・中国・四国地方教育旅行誘客事業 ・関東地方教育旅行誘客事業 ・国内誘客セールスプロモーション ・民族共生象徴空間PR事業		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円	いきいきふるさと推進事業					1,000	1,000	1,500
一般財源	千円			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
合計				1,500	1,500	1,500	2,500	2,500	3,000

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登別市並びに白老町の観光に関連する産業の振興と誘客促進に取り組む同協議会の経費の一部を負担した。	
【主な事業】	
・中国・四国地方教育旅行誘客事業 中国・四国地方の旅行代理店等を対象に登別市への修学旅行や白老町の体験プログラムを中心としたプロモーションを実施した。	
・関西・中部地方教育旅行誘客事業 関西・中部地方の旅行代理店等へ登別市・白老町地域の学習素材をPRし、プロモーションを実施した。	
・国内誘客セールスプロモーション 首都圏や近畿・北陸地方の旅行会社、宮城県でのイベント、札幌市内小学校へ2020年開設のアイヌ民族博物館や登別市・白老町についての最新情報の発信とPR販促協力の要請等を実施した。	
・民族共生象徴空間PR事業 登別市・白老町で行われるイベントでブースの出展や近隣市町や広域の協議会のプロモーション活動と連動し、道外での知名度向上を図った。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	観光客入込客数（登別市）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240
指標・実績②	うち道外客数（登別市）	千人	1,732	1,943	1,937	2,086	2,182
指標・実績③	うち道内容数（登別市）	千人	1,804	1,970	1,915	1,962	2,058
指標・実績④	うち日帰り客数（登別市）	千人	2,332	2,639	2,584	2,748	2,844
指標・実績⑤	うち宿泊客数（登別市）	千人	1,204	1,274	1,268	1,300	1,396
指標・実績⑥	観光客入込客数（白老町）	千人	1,792	1,815	1,767	1,736	
指標・実績⑦	うち道外客数（白老町）	千人	366	372	335	328	
指標・実績⑧	うち道内容数（白老町）	千人	1,426	1,443	1,432	1,408	
指標・実績⑨	うち日帰り客数（白老町）	千人	1,711	1,731	1,686	1,647	
指標・実績⑩	うち宿泊客数（白老町）	千人	81	84	81	89	
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。	いきいきふるさと推進事業助成金	
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	事業の実施により、登別市並びに白老町の誘客促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		登別市・白老町観光連絡協議会の活動経費の一部を負担することにより、登別市並びに白老町の個性を生かした多様な観光地づくりを推進する。	

事務事業名	北海道登別洞爺広域観光圏協議会負担金		
-------	--------------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 年度
基本的な方向	2	感動と癒しのある観光地づくり	事業区分	
主要な施策	2	滞在型観光の推進	大型事業推進プラン	

目的	観光地相互間の連携により観光圏を形成し、観光圏の魅力の増進を図ることで国際競争力を高め、国内外からの観光客の来訪及び滞在を促進することを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 西胆振3市4町が連携し、誘客宣伝事業や受入環境整備事業を実施し、地域全体での誘客促進や観光客満足度の向上を目指す。		
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・手ぶら観光実証実験事業 ・パブリシティ発信事業 ・海外、国内プロモーション事業 ・VJ地方連携事業		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 観光客

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円			2,363	2,363	2,364	2,364	2,364	2,342
合計				2,363	2,363	2,364	2,364	2,364	2,342

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
登別市、室蘭市、伊達市、白老町、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の観光に関連する産業の振興と誘客促進に取り組む同協議会の経費の一部を負担した。	
【事業事業】	
(1) 観光利用に配慮した二次交通整備事業 ・登別洞爺スマートシティ推進事業として、決裁環境の整備に向けた検討と実証実験を実施。	
(2) パブリシティ・パブリティ発信事業 ・観光圏の専用冊子などの作成。	
(3) 海外、国内プロモーション事業 ・北海道旅客鉄道株式会社や北海道観光振興機構と連携して、国内外でのプロモーションを実施。	
(4) VJ地方連携事業 ・海外のエージェントやメディア関係者などを招請し、海外へ向けて圏域のPRを実施。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客延数	千人	1,211	1,214	1,284	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	観光圏入込客数【圏域】	千人	13,071	14,442	14,536	14,319	
指標・実績⑤	宿泊客延数【圏域】	千人	2,909	2,981	3,043	3,098	
指標・実績⑥	日帰り客数【圏域】	千人	10,307	11,584	11,689	11,415	
指標・実績⑦	訪日外国人旅行者宿泊客延数【圏域】	千人	759	936	970	1,041	
指標・実績⑧	海外プロモーション実施回数	回	3	3	4	5	2
指標・実績⑨	VJ地方連携事業実施回数	回	1	1	1	2	2
指標・実績⑩	パンフレット等冊子の発行部数	回	90,000	63,000	40,000	50,000	30,000
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。	・北海道登別洞爺広域観光圏協議会の枠組みにおいて、地域づくり総合交付金（北海道胆振総合振興局）を活用して事業を実施した。 今後も継続して、補助金・交付金の活用を検討する。	
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	観光客の移動が広範化、長期化する中で、西胆振地域全体で誘客促進を行い、周遊促進を行うことは、本市の入込増加にも資することから、今後も事業を継続することが相当である。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		西胆振3市4町が連携し、誘客宣伝事業や受入環境整備事業を実施し、地域全体での誘客促進や観光客満足度の向上を目指す。	

事務事業名	観光客誘客促進事業
-------	-----------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	昭和 45 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	多様な誘客事業の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	魅力ある観光情報の発信	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	観光PRに必要なツールの整備や誘客事業の参加を通して、観光客入込の増加を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 各種誘客事業へ参加し、誘客促進を行うことを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 【事業内容】 ・道内外の観光PRイベントへの参加。 ・各種行事等における特産品等の提供 ・媒体への広告掲載 ・登別市PRキャラクターを活用した誘客宣伝	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 観光客

P l a n D o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	1,679	1,597	2,128	1,510	1,401	1,804
	合計		1,679	1,597	2,128	1,510	1,401	1,804

事務事業の成果・改善の状況【Do】

観光PRに必要なツールの整備や誘客事業の参加を通して、道内・道外における観光宣伝を実施した。

【事業実施】

- ①道内外観光PRイベント等への参加
- ②各種行事等における特産品等の提供
- ③媒体の広告掲載
- ④新幹線開業に伴う誘客促進事業
- ⑤友好都市等への観光客誘客促進事業

本事業に係る一部の事務（報償費、手数料、印刷製本費）を（一社）登別国際観光コンベンション協会に移管した。

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客数	千人	1,214	1,284	1,279	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	観光客入込客数	人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240
指標・実績⑤	道内観光PRイベント等参加件数	件	6	6	7	0	2
指標・実績⑥	道外観光PRイベント等参加件数	件	2	2	1	0	2
指標・実績⑦	国外観光PRイベント等参加件数	件	2	1	1	2	1
指標・実績⑧	PRキャラクター利用申請件数	件	25	22	21	21	22
指標・実績⑨	海外修学旅行受入件数	件	0	0	0	1	1
指標・実績⑩	地獄の谷の鬼火花来場者数	人	39,800	41,160	49,800	54,690	55,000
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	事業実施中に不断の事務改善を検討、実施しておりますが、事業内容に変更はない。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	事業の実施により本市の誘客促進に資することから、今後も事業を継続することが相当である。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】 各種誘客事業へ参加し、誘客促進を行う。
継続		

事務事業名	北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費		
-------	-----------------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	多様な誘客事業の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	魅力ある観光情報の発信	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	北海道新幹線の開業を契機として胆振日高地域の交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。	前回評価	縮小
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出し、事業を実施することで地域経済の活性化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・情報戦略事業 ・観光戦略事業 ・交通戦略事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市民、観光客等

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円								
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円								
合計				3,500	3,500	2,500	2,500	2,500	2,500

事務事業の成果・改善の状況【Do】

胆振日高地域の魅力を道内外に発信し、知名度の向上や胆振日高地域の資源を活かし交流人口の増加を図るため、胆振日高の18市町で構成される北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出するとともに、本市においても、当会議が実施する各種事業等に積極的に参加した。

【事業内容】

- プロモーション事業
 - 道内外共同プロモーションの実施。
- 森蘭航路磨き上げ事業
 - 森蘭航路を組み込んだ一般コンシューマー向けのモニターツアーの実施。
 - バスマップ作成事業
 - 既存の交通ネットワーク（都市間バス及び路線バス）を可視化し、道外からの個人旅行者やF I Tの周遊促進を図ることを目的に、日胆地域の広域バスマップを作成。

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	観光客入込客数【胆振総合振興局管内】	千人	15,561	16,975	17,096	16,984	
指標・実績②	宿泊客延数【胆振総合振興局管内】	千人	3,107	3,231	3,256	3,315	
指標・実績③	日帰り客数【胆振総合振興局管内】	千人	12,643	13,917	14,075	13,912	
指標・実績④	訪日外国人旅行者宿泊客延数【胆振総合振興局管内】	千人	780	974	1,009	1,082	
指標・実績⑤	観光入込客数【日高振興局管内】	千人	1,646	1,703	1,652	1,687	
指標・実績⑥	道外プロモーション実施回数	回	3	3	2	2	2
指標・実績⑦	道内プロモーション実施回数	回	13	2	4	2	1
指標・実績⑧	森蘭航路モニターツアー実施回数	回		1	8	15	12
指標・実績⑨	バスマップの作成部数	部				30,000	12,500
指標・実績⑩	総会実施回数	回	1	1	1	1	1
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	縮小
【2次評価】	縮小
【3次評価】	縮小

・観光に関する取り組みについては、一定程度の役割を果たしたものと考えられる。
・概ねの事業終了目途を2020年としているが、今後に向けては、各市町が課題とする移住・定住に関する取り組みを進めていく必要があるものとする。

今後の取組【Action】

実施事業内容の精査を行い、予算規模の縮小、本市負担金の減額について代表事務局である苫小牧市に打診する。

行政評価会議及び総合

記載のとおり事業の方向性と負担金の減額について検討し、事業内容の縮小を図って下さい。

今後の方向性【Plan】

北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出し、事業を実施することで地域経済の活性化を図る。
今後の事業の方向性について、協議を継続する。

事務事業名	道内周遊ルート構築事業
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部観光振興G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	3	魅力ある観光地づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	多様な誘客事業の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	魅力ある観光情報の発信	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	道内他自治体と協同で、誘客促進及び受入環境整備事業を展開し、道内周遊ルートを構築することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入)

P l a n D o 事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	2,300	2,287	2,000	2,000	1,998	2,500
	合計		2,300	2,287	2,000	2,000	1,998	2,500

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
道内周遊ルートの構築を目指し、次の事業を実施した。	
【事業実績】	
(1) 交通事業者と連携した情報発信・プロモーション	
・周遊ルート専用冊子、ポスターの作成。	
・道外共同プロモーションの実施。	
(2) 商談会へ参加（東京、仙台、名古屋、大阪、札幌）	
・道内外の商談会に参加して、旅行商品造成に向けたセールの実施。	
(3) 3市周遊旅行商品（北海道ドラマティックロード）の造成促進	
・雑誌掲載をきっかけに3市の各施設における特典を設定し、エージェン及び個人旅行者に対する商品造成を誘導。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	宿泊客延数	千人	1,211	1,214	1,284	1,314	1,360
指標・実績②	日帰り客数	千人	2,332	2,639	2,583	2,748	2,800
指標・実績③	外国人宿泊客延数	千人	372	470	479	518	581
指標・実績④	観光入込客数【札幌市】	千人	13,416	13,652	13,879	15,270	
指標・実績⑤	宿泊客延数【札幌市】	千人	11,103	12,133	11,359	13,082	
指標・実績⑥	日帰り客数【札幌市】	千人	7,433	7,503	8,154	7,483	
指標・実績⑦	外国人宿泊客延数【札幌市】	千人	1,804	2,438	2,509	3,092	
指標・実績⑧	観光客入込客数【函館市】	千人	4,840	4,947	5,606	5,246	
指標・実績⑨	宿泊客延数【函館市】	千人	3,605	3,786	4,425	4,337	
指標・実績⑩	日帰り客数【函館市】	千人	1,748	1,753	1,961	1,676	
成果指標	観光入込客数（年間）	千人	3,536	3,913	3,852	4,048	4,240

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・平成30年度より、これまでの取組を踏まえて、北海道ドラマティックロード推進協議会が立ち上がることから、引き続き、北海道の2大ゲートウェイである函館市、札幌市と連携を強固にし、3市を基軸とする周遊ルート（北海道ドラマティックロード）の発信及びPRを行うため、事業を継続することが相当である。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	事業の実施により、広域的な広域的なPRの促進、地域間連携の強化、交流人口の拡大に資することから、今後も事業を継続することが相当である。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		函館市、札幌市と強固に連携し、3市を基軸とする周遊ルートを構成し、その発信及びPRを行う。	

事務事業名	胆振西部乳牛検定組合補助金		
-------	---------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 10 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	農水産物高付加価値化の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新鮮で安全安心な農水産物供給の推進	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	乳質改善に取り組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 乳質及び生産乳量の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 胆振西部乳牛検定組合に対して、運営に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市農林業等振興補助金交付要綱	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 胆振西部乳牛検定組合

P l a n n o (財源内訳) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	429	429	429	429	429	429
	合計			429	429	429	429	429

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助した。 ・市内酪農家検定実施戸数：6戸	

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	市内酪農家数	戸	11	11	11	10	10
指標・実績②	市内搾乳牛数	頭	387	395	354	354	360
指標・実績③	検定実頭数	頭	37.0	38.0	37.0	38.0	37.0
指標・実績④	1kg当たり乳価	円	87.9	92.8	93.1	95.3	95.0
指標・実績⑤	生乳脂肪率	%	4.07	4.07	3.99	3.96	4.00
指標・実績⑥	生乳蛋白率	%	3.39	3.40	3.41	3.42	3.40
指標・実績⑦	生乳無脂率	%	8.81	8.82	8.79	8.81	8.81
指標・実績⑧	分娩間隔	日	424	426	429	434	430
指標・実績⑨	初産間隔	月	27	27	26	26	26
指標・実績⑩	空胎日数	日	148	143	148	157	150
成果指標	1頭当たり生産乳量	kg	8,590	8,475	8,639	8,461	9,000

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
(事務事業の実施における課題点等)		
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	検定成績を活用することで、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		乳質及び生産乳量の向上を図る。

事務事業名 札内高原館運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成18年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	農水産物高付加価値化の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	地場農水産物高付加価値化の推進	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	体験学習及びコミュニティ活動を通して農業に対する市民の知識及び理解を深めることにより、地域農業の振興を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 体験学習及びコミュニティ施設の利用促進を図る。						
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 運営管理を指定管理者に委託し、農産物加工に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放する。						
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市札内高原館条例、登別市札内高原館条例施行規則、登別市札内高原館の管理に関する協定書	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) (株)のぼりべつ酪農館				
P l a n n o (財源内訳) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	行政財産使用料	千円	1,628	1,628	1,628	1,628	1,628
	一般財源		千円	4,431	4,413	3,922	3,922	3,858
合計			6,059	6,041	5,550	5,550	5,486	7,052

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
運営管理を指定管理者に委託し、農産物加工に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放した。	
【指定管理期間】 平成27年4月1日～平成30年3月31日	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	札内高原館使用日数	日	212	243	238	236	240
指標・実績②	交流室利用人数	人	294	419	217	331	300
指標・実績③	体育館利用回数	回	235	277	299	269	270
指標・実績④	体育館利用人数	人	2,214	2,821	2,588	2,260	2,500
指標・実績⑤	体験学習開催回数	回	13	16	10	22	20
指標・実績⑥	体験学習参加人数	人	212	271	139	224	200
指標・実績⑦	外国人の体験学習利用回数	回	0	1	0	6	6
指標・実績⑧	外国人の体験学習参加人数	人	0	16	0	78	70
指標・実績⑨	苦情処理件数	件	6	6	1	0	0
指標・実績⑩	施設修繕回数	回	3	8	6	6	0
成果指標	札内高原館利用実績	人	2,894	3,611	3,044	2,905	3,000

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討(補助金・交付金の活用等)	
【1次評価】	施設の老朽化が進んでおり、対策が必要である。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	施設の老朽化対策を検討するとともに、体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、引き続き指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組んでいく。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		農業に対する市民の知識及び理解を深めるために体験学習及びコミュニティ活動を実施する。	

事務事業名	登別産一次産品普及促進事業
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 28 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	農水産物高付加価値化の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	地産地消の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内で生産される農水産物の地域内における流通や消費の促進を図り、地域の食材としての認知度を高め、一次産品の価値を高めることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入)

対象 市民

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	704	416	349	349	146	149
	合計		704	416	349	349	146	149

事務事業の成果・改善の状況【Do】

市内で生産される牛乳や乳製品、登別牛、のぼりべつ豚などの一次産品を対象に、生産者等と協力して、市内で実施されるイベント等でPRするほか、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図った。

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	ホームページ掲載数	件			1	1	1
指標・実績②	広報誌掲載数	件			1	1	1
指標・実績③	利用相談数	件			2	2	5
指標・実績④							
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	PR回数	回			2	2	2

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
(事務事業の実施における課題点等)		
【1次評価】	一次産品の取扱店舗の拡大を図る必要がある。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
改善	引き続き生産者等と協力して、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図っていく。	登別ブランド推進事業補助金事業と連携し、事業効果をさらに高める努力をしてください。
【3次評価】		
継続		今後の方向性【Plan】
		市内で生産される農水産物に対し、地域の食材としての認知度を高め地域内における流通や消費の促進を図る。

事務事業名	酪農ヘルパー事業補助金	
-------	-------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 10 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	酪農ヘルパーの普及に取り組む団体を支援することにより、酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 伊達市酪農ヘルパー利用組合に対し、運営に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市農林業等振興補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 伊達市酪農ヘルパー利用組合

P l a n n o (事業費 財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	672	672	668	668	668	660
	合計		672	672	668	668	668	660

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して運営費の一部を補助した。 ・加入農家数：9戸	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	市内酪農家数	戸	11	11	11	10	10
指標・実績②	市内搾乳牛数	頭	387	395	354	354	360
指標・実績③	市内酪農ヘルパー利用戸数	戸	9	10	10	9	9
指標・実績④	市内酪農ヘルパー利用農家の搾乳牛数	頭	340	354	317	319	320
指標・実績⑤	市内酪農家の農作業中の事故の発生件数	件	0	0	0	0	0
指標・実績⑥	市内酪農ヘルパー利用酪農家の農作業中の事故の発生件数	件	0	0	0	0	0
指標・実績⑦	市内酪農家の年間搾乳量	kg	2,528,913	2,596,335	2,454,853	2,453,050	2,454,000
指標・実績⑧	市内酪農ヘルパー利用酪農家の年間搾乳量	kg	2,331,459	2,426,303	2,289,710	2,241,465	2,250,000
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	ヘルパー利用回数	回	217	179	272	223	230

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	ヘルパーを利用を促進することにより、定期的休暇の取得を図り、畜産経営の進展を目指す。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図る。	

事務事業名	青年就農給付金事業（経営開始型）				
区分	No.	名称			部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち			観光経済部農林水産G
節	2	自然を活かした産業の育成			会計種別
施策	1	特色ある農業・漁業の推進			一般会計
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進			開始年度
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援			平成 24 年度
					終了年度
					平成 - 年度
					事業区分
					ソフト事業
					大型事業推進プラン
					非登載事業

目的	一定の条件を満たす新規青年就農者に対し、就農直後の所得を確保する給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 新規青年就農者の経営安定を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 新規青年就農者に対して国の制度を活用し、給付金を給付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道青年就農給付金事業実施要領、登別市青年就農給付金事業（経営開始型）給付要領	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 一定の条件を満たす新規青年就農者

P l a n n o （財源内訳）	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	合計		2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
地域の農業者が策定した「人・農地プラン」において中心経営体と位置付けられた新規青年就農者に対して、国の制度を活用し、給付金を給付する。	
【給付対象】	
・ 給付対象者：平成25年4月以降に農業経営を開始した45歳未満の者（単独で自営就農する者に限る）	
・ 所得基準：所得が350万円未満の者 他	
・ 給付期間：経営が安定するまでの間（最長5年）	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	新規参入農家戸数（平成24年度からの累計）	戸	1	2	4	5	5
指標・実績②	給付対象農家戸数	戸	1	0	1	1	1
指標・実績③	給付対象農家耕作面積（平成24年度からの累計）	㎡	75,261	75,261	153,607	153,607	153,607
指標・実績④							
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	給付対象者	人	1	0	2	2	2

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	給付金の給付を行うことにより、新規青年就農者の確保と定着を図っていく。
【3次評価】	
継続	今後の方向性【Plan】 新規青年就農者の経営安定を図る。

事務事業名		市牧場管理事業		
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内酪農家の育成牛の預託を受け入れることにより、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 牧場の利用の促進により畜産農家の労働の省力化及び乳牛品質の向上を図る。		
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 指定管理制度により市牧場の維持管理を行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行う。		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市牧場管理条例、登別市牧場管理条例施行規則、登別市牧場施設の管理に関する協定書	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 伊達市農業協同組合

P l a n n o （財源内訳）	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,550	1,426	1,550	1,550	1,545	1,550
	合計			1,550	1,426	1,550	1,550	1,545

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
指定管理制度により、市牧場（鉱山町）の草地の維持管理などを行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行った。	
【事業内容】 草地維持管理事業、家畜防疫事業、預託牛飼育管理事業	
【指定管理期間】 平成28年4月1日～平成33年3月31日	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	放牧日数	日	162	167	163	166	165
指標・実績②	牧場管理人出勤日数	日	87	89	93	100	100
指標・実績③	利用農家戸数	戸	4	4	4	4	4
指標・実績④	利用農家1戸当たり放牧頭数	頭	12	11	6	7	10
指標・実績⑤	1日当たり放牧頭数	頭	38	30	20	18	20
指標・実績⑥	牧野衛生対策（外部寄生虫駆虫薬）実施頭数	頭	126	142	91	68	70
指標・実績⑦	事故頭数	頭	0	1	0	0	0
指標・実績⑧	苦情処理件数	頭	0	0	0	0	0
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	放牧延頭数	頭数	6,318	5,117	3,252	2,969	5,900

課題等の状況【Check】		
(事務事業の実施における課題点等)		
財源の検討（補助金・交付金の活用等）		
【1次評価】	継続	・施設の利用が減少傾向にあります。放牧日数はほぼ横ばいですが、一戸あたりの放牧数が減少しています。原因としては、酪農家の高齢化などにより、運搬の省力化を図るため、頭数を制限していることが考えられます。酪農家や指定管理者と情報共有し、利用促進を図っていきます。
【2次評価】	継続	今後の取組【Action】 ・市牧場の利用拡大を推進し、ゆとりある畜産経営の確立を目指す。 ・利用の促進を図るため指定管理者とともに、市内酪農家への利用の働きかけを行っていく。
【3次評価】	継続	行政評価会議及び総合 事業者のニーズを十分に把握したうえで、利用促進の取り組みを実践してください。 今後の方向性【Plan】 畜産農家の労働の省力化及び乳牛品質の向上を図る。

事務事業名		市牧場用地購入費		
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 27 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内畜産農家の育成牛等の預託を受け入れることによって、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的で設置している市牧場の用地を取得する。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市牧場用地として使用している民有地を購入し、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 取得手続きを進められるよう、土地所有者との協議を進める。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 土地所有者

P l a n D o 事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
	合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況【Do】

市牧場用地として使用している民有地（178,512㎡）を購入することで所有者と協議を進めたが、所有者の事情により、平成27年度に土地の取得はできなかった。

再度、取得手続きを進められるよう、土地所有者との協議を進める。

【購入する土地】

- ・登別市鉢山町 59,504㎡
- ・登別市鉢山町 59,504㎡
- ・登別市鉢山町 59,504㎡

合計 178,512㎡

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標の区分	指標の名称						
指標・実績①	取得対象用地面積	㎡	178,512	178,512	178,512	178,512	178,512
指標・実績②	取得対象用地所有者数	人	1	1	1	1	1
指標・実績③	取得対象用地区画数	区画	3	3	3	3	3
指標・実績④							
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	民有地の取得面積	㎡	0	0	0	0	0

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
(事務事業の実施における課題点等)		
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	土地の取得について所有者と協議を進める。	
【3次評価】		
継続		今後の方向性【Plan】 市牧場用地として使用している民有地を購入し、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図る。

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 12 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	農業生産条件が不利な中山間地域の耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能を確保することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市牧場の草地の維持管理活動を推進し、中山間地域農地の多面的機能の確保を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 市営牧場を利用する農業者で構成する集落に対して、交付金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道中山間地域等直接支払交付金実施要領	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 集落

P l a n n o	事業費 (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
		国庫支出金	千円						
道支出金	千円	中山間地域等直接支払交付金		1,327	1,327	1,327	1,327	1,327	1,327
地方債	千円								
その他	千円								
一般財源	千円			443	443	443	443	443	443
合計				1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、市牧場を利用する農業者で構成する集落（団体）に対して交付金を交付した。	
【事業実績】 草地の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜伝染病まん延防止対策 ・ 交付対象：集落1箇所 ・ 対象農用地：登別市牧場：45.12ha ・ 補助率：国費50%、道費：25%、市負担：25%	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	急傾斜地草地面積	㎡	114,478	114,478	114,478	114,478	114,478
指標・実績②	緩傾斜地草地面積	㎡	336,728	336,728	336,728	336,728	336,728
指標・実績③	集落協定参加農家戸数	戸	9	9	9	9	9
指標・実績④	家畜伝染病自衛防疫組合加盟農家戸数	戸	24	24	25	25	27
指標・実績⑤	放牧延頭数	頭	6,318	5,117	3,252	2,969	3,000
指標・実績⑥	放牧日数	日	162	167	163	166	165
指標・実績⑦	草地施肥実施延人数	人		38	43	23	30
指標・実績⑧	外部寄生虫駆虫薬塗布実施回数	回		7	5	5	5
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	放牧家畜予防接種	頭	100	86	52	58	70

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	集落協定に基づく急傾斜農地保全のための活動に対して、引き続き国や北海道とともに支援していく。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		中山間地域農地の多面的機能の確保を図る。	

事務事業名	農地有効利用システム更新事業	
-------	----------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成23年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成—年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	農地有効利用システム等のデータ更新を行うことにより、情報の有効活用と農用地等の適切な管理を推進することを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 農用地等の適切な管理の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 農地有効利用システム、森林資源情報システム及び農業振興地理情報システムについて、オルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 土地所有者

P l a n D o (財源内訳) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	千円						
	道支支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円			1,188	1,059	1,059	0
	合計			0	0	1,188	1,059	1,059

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
農地有効利用システム、森林資源情報システム及び農業振興地理情報システムについて、オルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新を行った。	

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標の区分	指標の名称						
指標・実績①	航空写真図の更新	件	1	0	0	1	0
指標・実績②	地番図情報の更新	件	1	0	0	1	0
指標・実績③	土地所有者情報の更新	件	1	0	0	1	0
指標・実績④	農地情報の更新	件	1	0	0	1	0
指標・実績⑤	森林情報の更新	件	1	0	0	1	0
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	システムの更新	式	1	0	0	1	0

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
(事務事業の実施における課題点等)			
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	農地有効利用システム、森林資源情報システム及び農業振興地理情報システムについて、オルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新を行い、農用地等の適切な管理を行っていく。 なお、当該更新作業は3年に1度としており、次回の更新は、平成32年度に行うものとする。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		平成32年度にシステムの更新を行う	

事務事業名	農業振興特別補助金				
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G	
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計	
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 49 年度	
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 30 年度	
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業	
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業	

目的	土地改良事業に係る農業者等の経済的負担を軽減することを目的とする。	前回評価	継続
----	-----------------------------------	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る農業者等の経済的負担を軽減する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 土地改良事業に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市農業振興特別対策事業補助規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 農業者

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	1,099	1,099	741	741	741	204
	合計		1,099	1,099	741	741	741	204

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
平成3年以降に実施した土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助した。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	札内・来馬地区の世帯数	戸	46	49	49	48	48
指標・実績②	市内酪農家数	戸	11	11	11	10	10
指標・実績③	市内搾乳牛数	頭	387	395	354	354	360
指標・実績④	札内・来馬地区の人口	人	103	106	104	102	102
指標・実績⑤	市内肉用牛農家数	戸	8	8	10	9	9
指標・実績⑥	市内肉用牛数	頭	1,893	1,734	1,951	1,989	2,000
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	償還未済額	千円	3,142	2,044	945	204	0

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	行政評価会議及び総合	
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】		
継続	平成30年度の償還が完了するまで今後も補助を継続する。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る農業者等の経済的負担を軽減する。	

事務事業名	農業用施設管理経費	
区分	No.	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進
主要な施策	2	農業生産基盤の整備

部・グループ	観光経済部農林水産G
会計種別	一般会計
開始年度	平成 ー 年度
終了年度	平成 ー 年度
事業区分	ソフト事業
大型事業推進プラン	非登載事業

目的	農業用施設を適切に維持管理することで、農業者や地域住民の生活環境の改善、農業基盤の充実を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 農業基盤の充実と地域住民の生活環境の改善を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 農業用通路や農業用排水路の補修等を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 農業者

P l a n D o (財源内訳)	名称	単位	H28当初	H28決算	H29当初	H29最終	H29決算	H30当初
			予算		予算	予算		予算
国庫支出金		千円						
道支出金	海岸保全区域点検整備事業費委託金	千円	127	59	59	59	61	61
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	520	572	590	590	457	610
	合 計		647	631	649	649	518	671

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
農業用通路や農業用排水路の補修等を行った。	
【事業内容】	
○排水補修 2箇所	
○農業用通路修繕 2箇所	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	農業用施設数（樋門、通路、水路）	箇所数	5	5	5	5	5
指標・実績②	樋門点検回数	回数	12	12	12	12	12
指標・実績③							
指標・実績④							
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	修繕箇所数	箇所	3	1	4	2	2

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	・雨により農業用通路の砂利が流れて車両の通行が難しくなることがあった。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	・農業者の経営基盤の充実や地域住民の生活環境の改善を目指す。 ・大雨が降った際には巡視を行い、補修箇所があるか確認する。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		農業者の経営基盤の充実や地域住民の生活環境の改善を図る。	

事務事業名	草地生産力向上支援特別対策事業		
-------	-----------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 27 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 30 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	農業生産基盤の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	草地整備を計画的に進めることにより、良質粗飼料の確保と飼料自給率向上による生産性の高い畜産経営の育成及び安定を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 良質粗飼料の確保、飼料自給率の向上により畜産経営の安定を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業 ・事業参加農家 6戸 草地改良整備総面積 67.82ha ・事業期間 平成27年度～平成30年度 ・事業主体 公益財団法人北海道農業公社	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 農業者

P l a n n o （財源内訳）	名称	単位	H28当初	H28決算	H29当初	H29最終	H29決算	H30当初
			予算		予算	予算		予算
国庫支出金		千円						
道支出金	草地畜産基盤整備事業（畜産担い手総合整備型）再編整備事業補助金	千円	1,348	1,033	1,436	1,436	1,143	1,840
地方債		千円						
その他	草地生産力向上支援特別対策事業負担金	千円	6,481	4,863	6,899	6,899	5,383	8,844
一般財源		千円						
合 計			7,829	5,896	8,335	8,335	6,526	10,684

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業の「西いぶり地区」として参加する市内農家7戸に対して、草地整備の事業費の一部を補助した。	
【事業内容】	
・実施農家 6戸	
・平成29年度整備面積 18.87ha	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	草地整備実施農家戸数	戸		5	6	6	6
指標・実績②	実施農家乳用牛飼養頭数	頭		369	431	404	450
指標・実績③	市内酪農家数	戸	11	11	11	10	10
指標・実績④	市内農家乳用牛飼養頭数	頭	597	609	568	513	550
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	草地整備面積	ha		7	21	19	21

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	終了		
【2次評価】		今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
【3次評価】		終了	今後の方向性【Plan】 良質粗飼料の確保、飼料自給率の向上により畜産経営の安定を図る。
終了			

事務事業名		有害鳥獣駆除経費				
区分	No.	名称			部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち			会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成			開始年度	平成 11 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進			終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	2	ゆとりある農業経営の促進			事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	有害鳥獣の捕獲推進			大型事業推進プラン	非登載事業

目的	有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止めることにより、農林業の振興及び生活環境の維持を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止める。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) ・農林業及び生活環境被害に対応する有害鳥獣駆除業務委託 ・鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの大規模捕獲	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 一般社団法人北海道猟友会室蘭支部

P l a n D o (財源内訳)	名称	単位	H28当初	H28決算	H29当初	H29最終	H29決算	H30当初
			予算		予算	予算		予算
国庫支出金		千円						
道支支出金	北海道権限委譲事務交付金、地域づくり総合交付金	千円	613	638	777	777	810	620
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	3,236	2,846	3,357	3,357	3,186	3,478
	合計		3,849	3,484	4,134	4,134	3,996	4,098

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
市民からの被害及び苦情相談に基づき、エゾシカ・アライグマ・キツネ・カラス・タヌキなどの有害鳥獣を駆除したほか、ヒグマの出没によるわなの設置及び注意喚起を実施した。	
【実施事業】	
・農林業及び生活環境被害に対応する有害鳥獣駆除業務委託	
・鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの大規模捕獲による個体数の調整	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	駆除数（エゾシカ）	頭	191	228	225	234	200
指標・実績②	駆除数（アライグマ）	頭	117	182	228	270	140
指標・実績③	駆除数（キツネ）	頭	12	10	15	29	15
指標・実績④	駆除数（カラス）	羽	136	185	321	125	110
指標・実績⑤	駆除数（タヌキ）	頭	13	35	69	118	20
指標・実績⑥	大規模捕獲実施数	回	2	3	4	4	4
指標・実績⑦	ヒグマの痕跡確認実施回数	回	4	9	6	13	10
指標・実績⑧	有害鳥獣捕獲許可者数（エゾシカ）	人	81	87	91	82	82
指標・実績⑨	道内エゾシカ推定数	万頭	54	49	45	-	45
指標・実績⑩							
成果指標	駆除頭（羽）数	頭（羽）	469	640	858	776	485

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	捕獲実績は増えているが、農林業被害は依然高い水準にある。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	市民からの被害相談に対応するほか、有害鳥獣の駆除による個体数の適正化を図るなど、引き続き被害の防止に努めていく。
【3次評価】	
継続	今後の方向性【Plan】 有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止める。

事務事業名 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 52 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	マリンビジョンの推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のPR事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地場水産物のPRや地産地消を促進する。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 いぶり中央漁業協同組合

P l a n D o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	300	300	300	300	300	300
	合 計		300	300	300	300	300	300

事務事業の成果・改善の状況【Do】
 登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助した。

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	サケの宝引きサケ数	匹	400	400	400	400	400
指標・実績②	登録漁船数（登別漁港・鷺別漁港）	隻	125	126	128	123	123
指標・実績③	いぶり中央漁業協同組合 組合員数	人	295	288	280	278	278
指標・実績④	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績⑤	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	漁港まつり来場者数	人	40,000	25,000	30,000	35,000	40,000

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」の重要な取り組みの一つである登別漁港まつりにおいて、登別漁港産秋サケの鮮度をPRし、地場水産物の消費拡大を図るため、引き続き、いぶり中央漁業協同組合が行う「朝揚げサケの抽選即売会」を支援する。	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】
継続		登別漁港産秋サケの鮮度をPRし、地場水産物の消費拡大を図るため、引き続き、同協同組合が行う「朝揚げサケの抽選即売会」を支援する。

事務事業名		ホッキ空貝処分事業補助金			
区分	No.	名称			部・グループ
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち			観光経済部農林水産G
節	2	自然を活かした産業の育成			会計種別 一般会計
施策	1	特色ある農業・漁業の推進			開始年度 平成 25 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり			終了年度 平成 37 年度
主要な施策	2	つくり育てる漁業や資源管理型漁業の推進			事業区分 ソフト事業
					大型事業推進プラン 非登載事業

目的	いぶり中央漁業協同組合が行う漁場整備の取り組みを支援することにより、「資源管理型漁業」を推進することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) ホッキ空貝（死殻）を処分し、漁場の環境保全を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	164	141	216	216	90	164
	合計		164	141	216	216	90	164

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助した。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	空貝収集運搬回数	回	17	24	14	8	16
指標・実績②	ホッキ貝漁獲量	トン	103.8	111.3	99.8	93.3	93.3
指標・実績③	操業許可漁船数（ほっき貝けた網漁業）	隻	22	21	22	22	22
指標・実績④	いぶり中央漁業協同組合 組合員数	人	295	288	280	278	278
指標・実績⑤	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績⑥	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	ホッキ空貝処分量	トン	34	56	26	19	31

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)			
継続	【1次評価】	・事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。 ・白老町も補助金を抛出し、ホッキ空貝の処分を行っていますが、現在事業終了年度としている平成37年以降も残存量が多い場合は、事業を継続する可能性があります。	財源の検討（補助金・交付金の活用等）
	【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
	【3次評価】	本市海域には多くのホッキ空貝が残存し、単年度で全ての空貝を処分することや事業効果を判断することは難しいため、今後も事業を継続していく。	平成37年度以降の事業予定について、見通しが 出た段階で協議をお願いします。
継続		今後の方向性【Plan】	ホッキ空貝の残存量が多いことから、引き続き、ホッキ空貝の処分に係る取組を支援する。

事務事業名		漁業近代化資金利子補給金				
区分	No.	名称			部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち			会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成			開始年度	昭和 55 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進			終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり			事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	漁業経営の安定			大型事業推進プラン	非登載事業

目的	漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減することにより、漁業資本装備の近代化を促進することを目的とする	前回評価	継続
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減する。							
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対し利子補給を行う。							
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 漁業近代化資金融通法、登別市漁業近代化資金利子補給条例、登別市漁業近代化資金利子補給条例施行規則	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) いぶり中央漁業協同組合					
P l a n D o (財源内訳) 事業費	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円						
	道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円	863	396	535	535	272	1,185
合 計				863	396	535	535	272	1,185

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対し利子補給を行った。	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	補給件数	件	9	11	11	11	12
指標・実績②	登録漁船数（登別漁港・鷺別漁港）	隻	125	126	128	123	123
指標・実績③	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績④	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑤							
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	利子軽減額（利子補給金額）	千円	416	443	396	272	1,185

課題等の状況【Check】			
(事務事業の実施における課題点等)		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。		
継続			
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合	
継続	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、市が利息補給をすることにより、借入者の負担を軽減し、漁業経営の近代化の促進が図られるため、引き続き、いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努める。		
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
継続		いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努め、更なる漁業資本装備の近代化の促進を図る。	

事務事業名		水産鮮度保持施設整備事業補助金					部・グループ		観光経済部農林水産G	
区分	No.	名称					会計種別	一般会計		
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち					開始年度	平成 28 年度		
節	2	自然を活かした産業の育成					終了年度	平成 29 年度		
施策	1	特色ある農業・漁業の推進					事業区分	ソフト事業		
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり					大型事業推進プラン	非登載事業		
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進								

目的	いぶり中央漁業協同組合が行う水産鮮度保持施設（製氷・貯氷）の整備を支援することにより、登別漁港利用者の氷不足の解消を図り、水産物の鮮度保持に資することを目的とする。	前回評価	終了
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入)
		いぶり中央漁業協同組合	いぶり中央漁業協同組合

P l a n n o (財源内訳)	名称		単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金	水産業競争力強化緊急施設整備事業補助金		千円					
道支支出金			千円	231,682	0	231,682	231,682	228,425	0
地方債			千円						
その他			千円						
一般財源			千円	0	0	0	0	0	0
合 計				231,682	0	231,682	231,682	228,425	0

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
国の補助事業を活用し事業の費用の一部を補助した。	

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標の区分	指標の名称						
指標・実績①	製氷能力（登別漁港）	トン/日	15	15	15	18	18
指標・実績②	貯氷能力（登別漁港）	トン	250	250	250	330	330
指標・実績③	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績④	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑤	登別漁港陸揚高	百万円	2,313	2,469	1,857	1,957	1,957
指標・実績⑥							
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	製氷・貯氷施設（登別漁港）	施設	1	1	1	2	2

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
（事務事業の実施における課題点等）			
【1次評価】	終了		
【2次評価】		今後の取組【Action】	
【3次評価】	終了	行政評価会議及び総合	
【3次評価】		今後の方向性【Plan】	
終了			

事務事業名	登別救難所運営事業補助金			
区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 46 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別救難所の活動を支援することにより、安全な漁業活動の推進を図ることを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全な漁業活動の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 登別救難所

P l a n D o (財源内訳) 事業費	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	250	250	250	250	250	250
	合計		250	250	250	250	250	250

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助した。 【登別救難所の活動内容】 三救難所合同夏季演習、定期訓練、海難防止パレード、海難事故時の救助活動、各種会議等	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	登録漁船数(登別漁港・鷺別漁港)	隻	125	126	128	123	123
指標・実績②	遊漁船利用件数	件	103	99	83	72	72
指標・実績③	出勤数	件	0	1	1	0	0
指標・実績④	いぶり中央漁業協同組合 組合員数	人	295	288	280	278	278
指標・実績⑤	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績⑥	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑦	登別漁港陸揚高	百万円	2,313	2,469	1,857	1,957	1,957
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	夏季演習、定期訓練等開催回数	回	2	2	2	2	2

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等) 財源の検討(補助金・交付金の活用等)	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	本市海域では、漁船による海難事故だけではなく、遊漁船の利用が多くレジャー型の海難事故も懸念されるため、引き続き、登別救難所の活動を支援し、安心して安全な漁業活動及びレジャーの推進を図っていく。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	安全な漁業活動及びレジャーの推進を図る。

事務事業名	登別漁港維持管理事業補助金
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	昭和 44 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	漁港の適切な維持管理を行うことにより、安全で快適な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全で安心な漁港利用の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産業振興対策事業補助規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 いぶり中央漁業協同組合

P l a n n o (事業費 財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金	北海道権限委譲事務交付金	千円	280	280	277	277	277	261
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
	合計		280	280	277	277	277	261

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助した。	
【事業実績】 照明灯電気代、清掃活動、除雪等	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	登録漁船数（登別漁港）	隻	58	57	59	56	56
指標・実績②	背後地漁家数	件	61	60	60	44	44
指標・実績③	登別漁港陸揚量	トン	13,214.0	12,236.1	6,926.4	7,219.8	7,219.8
指標・実績④	遊漁船利用隻数	隻	103	99	83	72	72
指標・実績⑤	イカ外来船利用隻数	隻	21	8	10	22	22
指標・実績⑥	登別漁港陸揚高	百万円	2,313	2,469	1,857	1,957	1,957
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	漁港愛護活動回数（漁港清掃・花壇整備等）	回	3	6	5	5	5

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、海洋性レクリエーションの場として、漁業者や地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っているため、引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関との連絡調整を行う。
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	漁港の維持管理状況の把握に努め、安全で安心な漁港利用の推進を図る。

事務事業名	鷲別漁港維持管理事業補助金	
-------	---------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 11 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。	前回評価	継続
----	---	------	----

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全で安心な漁港利用の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) いぶり中央漁業協同組合に対して、鷲別漁港内の照明灯電気料の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水産産業振興対策事業補助規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 いぶり中央漁業協同組合

P l a n n o (事業費 財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金	北海道権限委譲事務交付金	千円	40	40	40	40	40	41
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	77	63	70	70	70	70
	合計		117	103	110	110	110	111

事務事業の成果・改善の状況【Do】	
いぶり中央漁業協同組合に対して、鷲別漁港内の照明灯電気料の一部を補助した。 【事業実績】 照明灯電気代	

指標の状況【Check】							
指標の区分	指標の名称	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	登録漁船数（鷲別漁港）	隻	67	69	69	67	67
指標・実績②	背後地漁家数	件	41	37	38	38	38
指標・実績③	鷲別漁港陸揚量	トン	127.6	124.9	140.8	178.5	178.5
指標・実績④	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績⑤	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑥	鷲別漁港陸揚高	百万円	54	62	65	74	74
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	漁港愛護活動回数（漁港清掃）	回	1	1	2	1	2

課題等の状況【Check】	
(事務事業の実施における課題点等)	
財源の検討（補助金・交付金の活用等）	
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。
継続	
【2次評価】	今後の取組【Action】
継続	行政評価会議及び総合
【3次評価】	今後の方向性【Plan】
継続	漁港の維持管理状況の把握に努め、安全で安心な漁港利用の推進を図る。

事務事業名	鷺別漁港機能保全事業負担金		
-------	---------------	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした産業の育成	開始年度	平成 29 年度
施策	1	特色ある農業・漁業の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	3	時代に即した漁業生産の基盤づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	漁港の維持・管理と環境整備促進	大型事業推進プラン	非登録事業

目的	漁港管理者である北海道が実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全事業費の一部を負担することにより、安全で安心な漁港利用の推進を図ることを目的とする。	前回評価	
----	---	------	--

概要	目標	(平成29年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全で安心な漁港利用の推進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成29年度で実施した事務事業の計画を記入してください) 漁港管理者である北海道が実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全事業費の一部を負担する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 いぶり中央漁業協同組合

P l a n n o (財源内訳)	名称	単位	H28当初 予算	H28決算	H29当初 予算	H29最終 予算	H29決算	H30当初 予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債	鷺別漁港機能保全事業充当債	千円			1,300	1,300	500	6,300
その他		千円						
一般財源		千円	2,134	2,134	200	200	151	765
	合計		2,134	2,134	1,500	1,500	651	7,065

事務事業の成果・改善の状況【Do】

北海道が作成した「鷺別漁港機能保全計画」に基づき、北海道が国の補助事業を活用して実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全工事等に係る費用の一部を負担した。

指標の状況【Check】		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標
指標・実績①	背後地漁家数	件	41	37	38	38	38
指標・実績②	鷺別漁港陸揚量	トン	127.6	124.9	140.8	178.5	178.5
指標・実績③	漁港愛護活動回数（漁港清掃）	回	1	1	2	1	2
指標・実績④	漁業従事者数	人	99	95	95	94	94
指標・実績⑤	経営体数	経営体	41	37	38	38	38
指標・実績⑥	鷺別漁港陸揚高	百万円	54	62	65	74	74
指標・実績⑦							
指標・実績⑧							
指標・実績⑨							
指標・実績⑩							
成果指標	登録漁船数（鷺別漁港）	隻	67	69	69	67	67

課題等の状況【Check】		財源の検討（補助金・交付金の活用等）
【1次評価】	事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しておりますが、事業内容に大きな変更はありません。	
継続		
【2次評価】	今後の取組【Action】	行政評価会議及び総合
継続	北海道が作成した「鷺別漁港機能保全計画」に基づく機能保全事業費の一部を負担する。	
【3次評価】		
継続		今後の方向性【Plan】 機能保全事業の一部を負担し、安全で安心な漁港利用の推進を図る。